

令和 3（2021）年度事業報告書

令和3年度事業報告及び附属明細書

- 公益財団法人神奈川芸術文化財団（以下「財団」という。）は、令和3年度財団経営方針に従い、神奈川県民ホール（以下「県民ホール」という。）、KAAT 神奈川芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）、神奈川県立音楽堂（以下「音楽堂」という。）の3館の指定管理者として、多彩な文化事業や施設の管理運営業務を適切に実施した。また、第4期（令和3年度から令和7年度）の指定管理者選定経緯を踏まえ、その初年度として県が企画立案する高齢者・障がい者等による芸術活動への支援を行う「共生共創事業」を主体的に実施するなど、地域の文化事業にも積極的に対応した。
- 令和3年度より、財団が神奈川の芸術文化の創造と振興にさらに力を発揮していくため、「理念」および「ミッション」を定め、これらを踏まえた指定管理業務や法人運営業務を実施した。（「理念」および「ミッション」は巻末に参考資料として記載）
- 年間を通じ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府および神奈川県の方針に基づき、主催事業の収容人数制限や時短、施設維持管理運営事業における感染拡大防止対策等を適宜実施した。
- 芸術文化事業では、ミッション「創造に挑む」を踏まえた事業として 13 事業／13 演目（100 公演）・7 企画（7 回）・2 展覧会（入場者数等 35,232 人）を実施した。またミッション「感動を分かち合う」を踏まえた事業として、22 事業／76 演目（209 公演）・19 企画（53 回）・2 展覧会（入場者数等 60,825 人）を実施した。またミッション「つねに考える」を踏まえた事業として、4 事業／8 演目（21 公演）・17 企画（18 回）・（入場者数等 4,305 人）を実施した。またミッション「未来につなぐ」を踏まえた事業として、10 事業／14 演目（51 公演）・25 企画（29 回）・3 展覧会（入場者数等 45,939 人）を実施した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部の有観客公演および企画の代替、補完手段として、令和2年度に引き続きオンライン配信を導入した。
- 施設運営では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う神奈川県の方針に基づき、各施設において利用者には細やかな情報提供および説明を行ったほか、ガイドラインを専門家の意見を取り入れて適宜改定し、利用者および来館者に周知するとともに、施設内に必要な感染対策を講じ、安心安全な施設運営に努めた。
- 令和3年度より財団本部に社会連携ポータル部門を立ち上げ、これまで各館で取り組んできた、専門人材育成、学校教育へのアプローチ、あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、地域との連携を強化する機能等を集約し、様々な取り組みを行った。
- 芸術文化に関する情報の収集提供として、情報誌「神奈川芸術プレス」をリニューアルして発行したほか、3館や地域の文化情報を紹介するとともに、ホームページ・SNSの運営を行った。

【令和3年度に実施した自主事業※（統計）】

※自主事業＝主催・共催・提携公演（他所での巡回公演等も含む）

施設名	事業	演目（企画）	公演（回）	入場者数（人）
県民ホール	18	61	56	33,069
芸術劇場	21	74	372	97,237
音楽堂	10	51	60	15,995
合計	49	186	488	146,301

1. 芸術文化事業 公1

(1) 県民ホール

- ・ 県民ホールが実施した芸術文化事業は 18 事業／37 演目（37 公演）・18 企画（19 回）・6 展覧会であり、入場者数等は 33,069 人であった。一部の事業ではオンライン配信を実施した。
- ・ 第4期指定管理期間の初年度であり、またコロナ禍のもとでの再始動の本格化として、コロナ対策の助成金等を得て事業を展開したほか、2025年の開館50周年を目指した開始年として、開館50周年記念事業の制作準備を開始した。
- ・ 芸術総監督および芸術参与のディレクションのもと、小ホール事業の活性化を目的に「C×C（シー・バイ）」シリーズを開始し、そのコンセプトを体現する中心企画として気鋭の作曲家と演奏家が時代を超えた名作に挑む「C×C（シー・バイ・シー）」を実施したほか、新任の中田恵子オルガンアドバイザーのもと「C×Organ（シー・バイ・オルガン）」としてオルガンシリーズ全体の刷新を行った。また横浜市の Dance Dance Dance @ YOKOHAMA との共催で大規模なバレエ公演を3演目実施したほか、ギャラリーでの企画展として2名の気鋭の作家による企画展「ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば」を実施した。
- ・ 県域巡回の企画として「みんなでたのしむオペラ『ヘンゼルとグレーテル』」（海老名市、横須賀市）とワークショップ付きコンサート（寒川町、秦野市）を実施し、広域的な鑑賞機会の提供に努めたほか県内の文化施設や事業者・アートNPO等との連携ネットワークの拡大を図った。またコロナ禍で前年は中止となった「オープンシアター」を2年ぶりに開催し、バックステージツアーや無料屋外コンサート、バリアフリー対策などホールスタッフ全員で協力して、終日ホール全館を地域に向けて開放した。両企画とも社会連携ポータル部門との連携のもと実施したほか、インターン受入や鑑賞支援の試行でも同部門と協働して実施した。
- ・ 他方で新型コロナウイルス感染症の影響は継続しており、客席数上限を調整するなど安全な事業実施に向けた諸対策を徹底したが、感染拡大による県美術展の入場制限や県文化プログラム公演の無観客実施などチケット販売の動きも含めて様々な影響が発生した。

■ミッション「創造に挑む」

[2事業／2演目（2公演）・1企画（1回）／1展覧会 入場者数等 2,907人]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)
C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅			
11月6日（土）	小ホール	Vol. 1 山本裕之×武満徹	264
令和4年 1月8日（土）		Vol. 2 川上統×サン＝サーンス	316

12月20日(月) ～ 令和4年 1月29日(土)	ギャラリー	企画展 ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば ≪1展覧会≫	2,327
12月25日(土)	ギャラリー 第5展示室	関連企画 ライブパフォーマンス ≪1企画≫	(87) ※企画展入場 者数を含む

■ミッション「感動を分かち合う」

[12事業/32演目(32公演)・6企画(6回)/2展覧会 入場者数等 26,120人

配信等視聴者数 2,775]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
オープンシアター2021				
5月30日(日)	大ホール	音楽でめぐる世界の旅 ガラコンサート	1,000	—
5月26日(水) ～6月5日(土)	ギャラリー 第1展示室	對木裕里展「手のたび では いっ ておいで」 ≪1展覧会≫	882	—
5月30日(日)	小ホール	音楽のおくりもの オルガンとカウンターテナーのハー モニー	253	—
神奈川県民ホール巡回事業				
7月17日(土)	海老名市文化会 館 大ホール	みんなでたのしむオペラ『ヘンゼル とグレーテル』 海老名公演	546	—
7月24日(土)	ヨコスカ・ベイ サイド・ポケッ ト	みんなでたのしむオペラ『ヘンゼル とグレーテル』 横須賀公演	276	—
12月29日(水)	大ホール	ファンタスティック・ガラコンサ ート2021 美に酔い、心ふれあう 至福のひと とき	1,678	—

12月18日(土)	寒川町民センターホール	関連企画 県域巡回事業 子どものためのワークショップ付コンサート『カルメン』～みんなのヒーロー「エスカミリーヨ」を応援しよう!～ 《1企画》	108	—
12月24日(金)	クアーズテック 秦野カルチャーホール(秦野市文化会館) 小ホール	関連企画 県域巡回事業 子どものためのステージ見学+ワークショップ付コンサート「くるみ割り人形の世界へようこそ」 《1企画》	115	—
C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ				
オルガン・プロムナード・コンサート				
4月23日(金)		ランチタイム・プロムナード vol. 388	182	—
6月25日(金)		アフタヌーン・プロムナード vol. 389	166	—
8月27日(金)		ナイト・プロムナード vol. 390	142	—
11月26日(金)	小ホール	アフタヌーン・プロムナード vol. 391	187	—
令和4年 1月28日(金)		アフタヌーン・プロムナード vol. 392	168	—
令和4年 2月18日(金)		ランチタイム・プロムナード vol. 393	217	—
10月9日(土)	小ホール	中田恵子 オルガン リサイタル	334	—

12月11日(土)	小ホール	オルガン クリスマス コンサート ～古風で不思議なクリスマス～	335	—
令和4年 3月26日(土)	小ホール	C×Baroque 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol. 1 バロックの生まれた時～オペラの誕生	333	—
【共催事業】				
9月4日(土)	大ホール	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 東京バレエ団 『白鳥の湖』 (ブル メイステル版)	1,220	—
9月18日(土)	大ホール	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 International Choreography × Japanese Dancers ～舞踊の情熱～	1,131	—
10月3日(日)	大ホール	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 NHK バレエの饗宴 2021 in 横浜	1,001	—
12月24日(金)	大ホール	松山バレエ団 『くるみ割り人形』 全幕	1,679	—
12月25日(土)		松山バレエ団 マリーヌと楽しむこ ども『くるみ割り人形』劇場	1,874	—
6月26日(土)	大ホール	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 第369回	639	—
12月18日(土)		神奈川フィル・フューチャー・コン サート 横浜公演 ベートーヴェン 「第九」	1,850	—
令和4年 1月9日(日)		神奈川フィルハーモニー管弦楽団 県民名曲シリーズ第13回	1,306	—
令和4年 3月5日(土)		神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 第375回	1,730	—

その他の共催公演・展覧会				
5月1日(土)	小ホール	第47回・第48回 日本オルガニスト協会 新人演奏会	190	—
(配信期間) 6月14日(月) ～20日(日) 11月1日(月) ～7日(日)	オンライン	Ferris Concert Vol.72 フェリス・音楽の花束 楽器との対話 <<1企画>> ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	有料配信 視聴者数 80
(配信期間) 8月23日(月) ～29日(日) 11月8日(月) ～14日(日)		Ferris Concert Vol.73 フェリス・音楽の花束 祈り <<1企画>> ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	有料配信 視聴者数 108
5月26日(水) ～6月5日(土)	ギャラリー 第2～第5展示室	第59回 日本現代工芸美術展 <併催展> 草月流 稲垣琇靖社中展 第4回神奈川工芸美術展 <<1展覧会>>	983	—
6月26日(土)	小ホール	細川久恵オルガンリサイタル 音景 —響き合うかたち— オルガンと書の 幻境	96	—
7月3日(土)	小ホール	横浜シティオペラ コンサートシリーズ'21 歌曲の花束 vol.13 ～世界の名曲～	67	—
7月10日(土)		横浜シティオペラ コンサートシリーズ'21 歌曲の花束 vol.14 ～世界の名曲～	111	—
8月7日(土)～	大ホール	東京2020 NIPPON フェスティバル 共催プログラム 「静、愛と死」 ～能とオペラの融合による創作舞台～ <<1企画>> ※無観客開催とし、内容をライブ配信および後日オンライン配信した(1企画)	0	無料配信 視聴者数 1,560

(配信期間) 9月6日(月) ～ 令和4年 3月31日(木)	オンライン	東京 2020 NIPPON フェスティバル Our Glorious Future ～KANAGAWA～ カガヤク ミライ ガ ミエル カナガ ワ 「時をかける韻 (ヒビキ) ～ 奇蹟の尺八 三橋貴風～」 《1企画》 ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	無料配信 視聴者数 1,027
10月30日(土)	大ホール	第37回 芸術舞踊展 MODERN & BALLET 2021	832	—
11月27日(土)	大ホール	ロシア国立モスクワ・クラシック・ バレエ『くるみ割り人形』	2,201	—
令和4年 1月16日(日)	大ホール	(公社)日本バレエ協会 関東支部 神奈川ブロック 第36回自主公演 Ballet Art KANAGAWA 2022 『くる み割り人形』全幕	2,013	—
令和4年 2月27日(日)	小ホール	東京音楽大学 ACT Project 管楽ア ラカルト —アンサンブルの響きを 召し上がれ— 東京音楽大学の学生 たちと外園祥一郎による饗宴	94	—
令和4年 3月14日(月)	小ホール	ごらくハマ寄席(第400回・県民ホ ール寄席) 柳家 権太楼 独演会	181	—

中止した演目・企画

5月26日(水)	小ホール	第30回 インターナショナル・オルガン・フェスティバル・ イン・ジャパン 横浜公演(共催)		
9月27日(月)	大ホール	キエフ・クラシック・バレエ『白鳥の湖』(共催)		
11月3日(水祝)	大ホール	第70回 神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式(共催)		

■ミッション「つねに考える」

[1事業/4企画(4回) 入場者数等748人 配信等視聴者数80]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
		C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 (再掲 詳細はミッション「創造に挑む」に記載。事業数、入場者数も「創造に挑む」で計上)	(再掲)	—

9月25日(土)	小ホール	第109回 舞台芸術講座 青島広志の「もっと知りたい!創造する女性!」 <<1企画>>	204	—
令和4年 2月20日(日)	大会議室	舞台芸術講座 オルガン 「フーガの技法」～謎と魅力～ 第1回～作品の概要と魅力～ <<1企画>> ※内容を後日オンライン配信した(配信期間令和4年2月26日(土)～3月27日(日))(1企画)	113	有料配信 視聴者数 42
令和4年 3月6日(日)	大会議室	舞台芸術講座 オルガン 「フーガの技法」～謎と魅力～ 第2回～フーガとはどんなもの?～ <<1企画>> ※内容を後日オンライン配信した(配信期間令和4年3月12日(土)～3月27日(日))(1企画)	110	有料配信 視聴者数 38
令和4年 3月21日(月祝)	小ホール	舞台芸術講座 オルガン 「フーガの技法」～謎と魅力～ 第3回～オルガン&チェンバロ 聴き比べ～ <<1企画>>	321	—

■ミッション「未来につなぐ」

[3事業/3演目(3公演)・7企画(8回)/3展覧会 入場者数等3,294人]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等(人)
県民ホール人材育成事業			
4月29日(木祝)	大ホール	横浜バレエフェスティバル2021 出演者オーディション《ファイナル》 <<1企画>>	25
8月25日(水)	小ホール	C×Organ オルガン・コンサート・シリーズ ランチタイム・プロムナード vol.393 出演者オーディション <<1企画>>	6
11月25日(木) ～ 令和4年 1月11日(火)	全館	神奈川県民ホール インターンシップ 「公共ホールでの文化事業の実習」プログラム <<1企画>>	4
令和4年 1月27日(木) ～28日(金)	小ホール	神奈川県民ホール開館50周年記念オペラシリーズ Vol.1 出演者オーディション <<1企画>>	142

通年 (公演日 令和4年 2月27日(日))	全館	東京音楽大学との連携事業 「東京音楽大学 Act Project」 《1企画》	20
令和4年 3月13日(日)	スタジオリリカ Aスタジオ	神奈川県民ホール巡回事業 みんなでたのしむオペラ『ヘンゼルとグレーテル』 出演者オーディション 《1企画》	46
令和4年 3月30日(水)	中区福祉活動拠点 なかふく 多目的研修室	シリーズ「これからのインクルーシブ社会と 公立文化施設の取り組み」 第14・15回 情報のユニバーサルデザイン 「ウェブアクセシビリティ」 ①「ウェブアクセシビリティ」の重要性 ②「ウェブアクセシビリティ」の実践と検証 《1企画2回》	①14 ②15
(共催事業)			
4月29日(木祝)		横浜バレエフェスティバル2021 出演者オーディション《ファイナル》公開	86
7月31日(土)	大ホール	横浜バレエフェスティバル2021 「前夜祭」	97
8月1日(日)		横浜バレエフェスティバル2021	1,066
1期展： 8月25日(水) ～9月5日(日) 2期展： 9月8日(水) ～19日(日)	ギャラリー 第1～第5展示室	第56回神奈川県美術展 1期展 [平面立体] / 中高生特別企画展 2期展 [工芸・書・写真] / 中高生特別企画展 《2展覧会》	1,543
9月21日(火) ～10月2日(土)	厚木市文化会館 展示室	第56回神奈川県美術展 厚木巡回展 《1展覧会》	230

(その他の取組)

事業数、入場者数等の統計カウントには含まない

取組	内容
ステージ見学等	①オープンシアター2021 0歳から楽しめる♪ミニミニコンサート 開催日：5月30日(日) 場所：テラス特設ステージ 参加者数：300名(2回実施) ②オープンシアター2021 バックステージツアー 開催日：5月30日(日)

	<p>参加者数：50名</p> <p>③オープンシアター2021 音楽のおくりものオルガンとカウンターテナーのハーモニー オルガン見学 開催日：5月30日（日） 場所：小ホール</p> <p>④C×Organ オルガン・コンサート・シリーズプロムナード・コンサート オルガン見学 開催日：6月25日（金）、8月27日（金）、11月26日（金）、令和4年1月28日（金） 場所：小ホール</p>
ワークショップ	<p>オープンシアター2021 つくってみよう！ ちらかしと片づけのオブジェ 開催日：5月30日（日） 場所：ギャラリー第1展示室前ロビー 参加者数：12名</p>
トークイベント等	<p>①C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol. 1 山本裕之×武満徹 プレトーク 開催日：11月6日（土） 場所：小ホール</p> <p>②企画展ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば 関連企画アーティスト・トーク 開催日：12月25日（土） 場所：大会議室 参加者数：78名</p> <p>③C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 Vol. 2 川上統×サン＝サーンス プレトーク 開催日：令和4年1月8日（土） 場所：小ホール</p>
動画配信の取組み（主なもの）	<p>長く続くコロナ禍のもとでの文化芸術の普及活動の維持継続を図ることを目的に「神奈川県民ホール You Tube チャンネル」を活用し、事業実施等に関する動画配信を行った。</p> <p>①オープンシアター2021 ダイジェスト映像 配信開始：令和4年2月4日（金） 再生数：230回</p> <p>②第56回神奈川県美術展 オンライン展示 写真・書・工芸・立体・平面・中高生特別企画展・ともいきアート展 配信開始：8月25日（水）以降順次 再生数：1,400回</p> <p>③子どものためのワークショップ付コンサート「くるみ割り人形の世界へようこそ」ダイジェスト映像 配信開始：4月1日（木） 再生数：650回 ※令和3年3月17日（水）からの継続</p> <p>④企画展ミヤケマイ×華雪 ことばのかたち かたちのことば 配信開始：令和4年1月13日（木） 再生数：400回 ※再生数は配信期間中の概算</p>



ファンタスティック・ガラコンサート2021
美に酔い、心ふれあう 至福のひとつき
12月29日（水）
大ホール
撮影：長谷川清徳

(2) 音楽堂

- ・ 音楽堂が実施した芸術文化事業は10事業／33演目（41公演）・18企画（19回）であり、入場者数等は15,995人であった。一部の事業ではオンライン配信を実施した。
- ・ ブランドイメージ構築の目標に対応する音楽堂の根幹事業として「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」と「音楽堂ヘリテージ・コンサート」を実施した。
- ・ 通年の「音楽堂ヘリテージ・コンサート」は主共催連動して年間セット券、特設サイトなどを展開した。一方、世界市場が定着したクラシック音楽事業で一流性を確保するには国籍を問わず世界的人材が欠かせない中、本シリーズがコロナ禍に最も影響を受け、政府の入国制限措置により主催1公演、共催1公演が中止となった。その中でサントリーホールと共同招聘を行った世界随一の現代音楽アンサンブル「アンサンブル・アンテルコンタンポラン」は、難解なプログラムにもかかわらず集客、批評両面で成功した。
- ・ 「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」は気鋭の作曲家、ブルーノ・ジネールによる「シャルリー」を日本初演し、フランスから初来日のアンサンブルを直接招聘することに成功した。独裁化する社会に警鐘を鳴らす寓話を土台にした本作の上演にあたり、オペラ本編だけでなく、前後に、ナチスに迫害された作曲家たちの曲による室内楽と、日本の美術作家や評論家と作曲家がオンラインで対話するトークを配し、立体的に作品の意義を掘り下げ、WEB批評サイト「メルキュール・デザール」で年間企画賞1位を獲得した。本プロジェクトが同1位を獲得するのは平成31年度「サイレンス」に続き2度目となり、プロジェクトの定着を感じさせた。またブックリーディング、美術などのワークショップ、インターンシップ等の関連企画も展開し、同プロジェクトを鑑賞普及や人材育成等の多角的展開の軸にするスキームも定着した。
- ・ 舞台上の合唱の人数制限により、県民参加の大合唱が呼び物のクリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会も中止となったが、代替案として、神奈川フィルとソロ歌手による、クリスマス曲などの「アドヴェント・コンサート」、大塚直哉を講師にした「メサイア」の合唱ワークショップを行い、成功した。大塚は令和4年度「メサイア」の指揮が決定しており、次への架け橋とすることもできた。
- ・ 若い世代、社会にむけ、新しい音楽や他ジャンルの芸術とのコラボレーションも含めた発信を行う取り組みとして、新企画「子どもと大人の音楽堂」を実施。7月に＜子ども編＞として大友良英スペシャルビッグバンドによる年齢制限なしのコンサートを、3月に＜大人編＞として小金沢健人らのディレクションにより様々なアーティストが音楽堂全体を使ってパフォーマンスする「音楽堂のピクニック」を開催し、新しい客層を開拓した。
- ・ また新シリーズ「新しい視点」の公募プログラム＜紅葉坂プロジェクト＞では若手中心に公募した企画案から3企画を採択し、モニター観客と交流するワーク・イン・プログレスを開催した。これを経て令和4年7月に本公演を行う。
- ・ アウトリーチ事業は新機軸として「先生のためのアウトリーチ」に取り組み始め、箏奏者の丸田美紀による教員対象の指導法動画を制作した。

■ミッション「創造に挑む」

[2事業/1演目(2公演)・5企画(5回) 入場者数等1,009人]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)
音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾			
10月30日(土) ～31日(日)	音楽堂	ブルーノ・ジネール作曲 オペラ『シャルリー ～茶色の朝』 日本初演(フランス語上演・日本語字幕付) 《2公演》	884
10月2日(土)	音楽堂	関連企画 ブックリーディングワークショップ 「茶色の朝を迎えないために」 《1企画》	13
10月17日(日)	横浜市民ギャラリー リー 4階アトリエ	関連企画 対話型美術ワークショップ 「茶色の朝」を体験しよう 《1企画》	6
シリーズ「新しい視点」			
令和4年 2月27日(日)	音楽堂	<紅葉坂プロジェクト Vol. 1 > ワーク・イン・プログレス ①kasane(かさね)～呼応する弦楽器と電子音響～ ②描線の音楽会～ユポドラムによるドローイングサウンド パフォーマンスで線をさく～ ③「音+音」～”響き”を通して知る音楽の根源 そして新たな”響き”の探求～ 《3企画3回》	106

■ミッション「感動を分かち合う」

[4事業/24演目(31公演)・1企画(1回) 入場者数等12,669人 配信等視聴者数5,741]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
音楽堂ヘリテージ・コンサート				
8月29日(日)	音楽堂	アンサンブル・アンテルコンタン ポラン	522	—
音楽堂ヘリテージ・コンサート(共催公演)				
9月18日(土)	音楽堂	プラハ・フィルハーモニア管弦楽 団	568	—

12月24日(金)	音楽堂	ゲルハルト・オピッツ ピアノ・リサイタル	544	—
音楽堂アフタヌーンコンサート 2021 (共催公演)				
4月23日(金)	音楽堂	荘村清志 ギターリサイタル 《アルハンブラの思い出》	606	—
5月20日(金)	音楽堂	北村朋幹 ピアノ・リサイタル 《プレリュード》	411	—
6月25日(金)	音楽堂	佐藤美枝子 ソプラノ・リサイタル 《華麗なるオペラ・アリア》	467	—
7月16日(金)	音楽堂	横山幸雄 ピアノ・リサイタル 《究極のショパン》	682	—
9月7日(火)	音楽堂	石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 《無伴奏》	740	—
10月1日(金)	音楽堂	前橋汀子&アンサンブル《前橋汀子の“四季”》	454	—
12月2日(木)	音楽堂	ダニエル・ハリトーノフ ピアノ・リサイタル	529	—
令和4年 1月19日(水)	音楽堂	小菅 優 ピアノ・リサイタル	605	—
その他の共催公演				
5月2日(日)	音楽堂	第37回 かながわ音楽コンクール ユースピアノ部門	250	—
5月23日(日)		第37回 かながわ音楽コンクール ヴァイオリン部門	154	—

6月12日(土) 26日(土) 27日(日)	音楽堂	第63回 神奈川県合唱祭 《3公演》	1,125	—
6月20日(日)	音楽堂	ダンスカナガワフェスティバル (神奈川県芸術舞踊祭No.111)	398	—
7月3日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ「モーツァルト+ (プラス)」第20回	466	—
(配信期間) 8月23日(月) ～ 令和4年 3月31日(木)	オンライン	東京2020 NIPPON フェスティバル Our Glorious Future ～ KANAGAWA 2021～ カガヤク ミライ ガミエル カナガワ 2021 《1企画》 ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	無料配信 視聴者数 5,741
9月23日(木祝)	音楽堂	第30回 神奈川オペラフェスティバル オペラ「ポラーノの広場」	307	—
10月16日(土)	音楽堂	第30回 神奈川オペラフェスティバル オペラ・ガラコンサート	450	—
10月6日(水) ～8日(金)	音楽堂	第60回「音楽堂・おかあさんコー ラス」 《3公演》	559	—
11月18日(木) ～21日(日)	音楽堂	第35回 ヨコハマコンペティション (神奈川県芸術舞踊祭No.112) 《4公演》	840	—
令和4年 1月15日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会 第16回 フレッシュ・コンサート	294	—
令和4年 1月22日(土)	音楽堂	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ「モーツァルト+ (プラス)」第21回	488	—
令和4年 2月11日(金祝)	音楽堂	第44回 神奈川県合唱フェスティバ ル	450	—

令和4年 2月26日(土)	音楽堂	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ「モーツァルト+ (プラス)」第22回	760	—
------------------	-----	---	-----	---

中止した事業（演目・企画を含む）

4月17日(土)	音楽堂	第44回 全日本おかあさんコーラス神奈川県大会（共催）
8月21日(土) ～22日(日)	音楽堂	第64回 神奈川県合唱コンクール（共催）
9月26日(日)	音楽堂	音楽堂ヘリテージ・コンサート（共催） イ・ムジチ合奏団
11月24日(水)	音楽堂	音楽堂アフタヌーンコンサート2021（共催） ジャン・ワン チェロ・リサイタル
11月25日(木)	音楽堂	リシャール・ガリアーノ ソロ&トリオ（共催）
11月28日(日)	音楽堂	第55回 神奈川県名流三曲祭（共催）
令和4年 3月3日(木)	音楽堂	音楽堂ヘリテージ・コンサート ミハイル・プレトニョフ ピアノ・リサイタル

■ミッション「つねに考える」

[※中止]

中止した事業

未定	未定	街なかトークカフェ
----	----	-----------

■ミッション「未来につなぐ」

[4事業／8演目（8公演）・12企画（13回） 入場者数等 2,317人 配信等視聴者数 11]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
7月30日(金)	音楽堂	子どもと大人の音楽堂<子ども編> 大友良英スペシャルビッグバンド初 登場!みんなー!たのしい音楽始め るよ、あつまれー!	509	—
		ホワイエ企画 盆踊り 《1企画》	※本公演入場 者数に含む	—

令和4年 3月19日(土)	音楽堂	子どもと大人の音楽堂<大人編> 音楽堂のピクニック ①邦楽創造集団オーラJ ②志人×内橋和久 ③鈴木昭男(演奏)・宮北裕美(ダンス) ④芳垣安洋(Dr)・石若駿(Dr) feat. 象眠舎 ⑤アイヌ影絵(ほしふね[小谷野哲郎・わたなべなおか]アペトゥンペ [Rekpo・Mayunkiki]) ⑥渋谷毅(Pf) ≪6演目6公演≫	351	-
		ホワイエ企画 ①カルテット・シエル(弦楽四重奏) ②FUJI TA ≪2企画2回≫		
令和4年 3月18日(金)～ 19日(土)		関連企画 音のインスタレーション体験展示 Black Box Portal Point ver. 0 ≪1企画2回≫	54	-
12月12日(日)	音楽堂	音楽堂クリスマス音楽会2021 特別編 「アドヴェント・コンサート」 ※「ヘンデル：メサイア全曲演奏会」から内容 変更して実施した	907	-
12月10日(金)	音楽堂	関連企画 合唱講座「メサイアの魅力」 ≪1企画≫	144	-
9月26日(日) ～11月14日(日)	音楽堂	人材育成事業 「室内オペラ制作・広報インター ン」 ≪1企画≫	3	-
音楽堂アウトリーチ				
10月8日(金)	座間市立東 原小学校	打楽器コンサート「いろいろな音 を楽しもう」/楽器体験ワークショ ップ ≪1企画≫	98	-
11月9日(火)	厚木市立北 小学校	箏の演奏鑑賞と体験 ≪1企画≫	74	-

11月12日(金)	厚木市立毛利台小学校	箏の演奏鑑賞と体験 《1企画》	82	—
11月15日(月)	川崎市立西御幸小学校	箏の演奏鑑賞と体験 《1企画》	45	—
11月26日(金)	横須賀市立豊島小学校	箏の演奏鑑賞と体験 《1企画》	50	—
令和4年 2月1日(火)	オンライン	「先生のためのアウトリーチ」映像 プログラム無観客収録・同時オンライン配信 《1企画》 ※内容をライブ配信した	0	無料配信 事前申込制 視聴者数 11

中止した事業

未定	音楽堂	子どものための公開リハーサル
----	-----	----------------



音楽堂室内オペラ・プロジェクト第4弾
ブルーノ・ジネール作曲
オペラ『シャルリー〜茶色の朝』日本初演
(フランス語上演・日本語字幕付)
10月30日(土)～31日(日)
撮影：青柳聡

(3) 芸術劇場

- ・ 芸術劇場が実施した芸術文化事業は 21 事業／41 演目 (303 公演) ・ 32 企画 (69 回) ・ 1 展覧会であり、入場者数等は 97,237 人であった (国内各地で開催した巡回公演を除くと 69,031 人)。一部の事業ではオンライン配信を実施した。
- ・ 令和3年度より新たに芸術監督に就任した長塚圭史氏のもと、劇場を「ひらいて」いくこと、豊かなプログラムを提供する枠組みとしてシーズン制を設けること、また創作環境と劇場の未来を考えること、この3つの方針を掲げ、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。
- ・ 舞台に触れることの少ない方々に観客となる鮮やかな体験を提供することを主眼とした、4月から8月までのプレシーズンにおいては、街ゆく人々も眼にできるアトリウムに仮設劇場を設えて上演した、長塚芸術監督の演出で新ロイヤル大衆舎との共同制作による「王将-三部作-」や、県内に居住する外国人を出演者に加え、また稽古場公開を実施して多様な県民の来場を得た「虹む街」、現代美術とコンテンポラリーダンスの協働によるキッズプログラム「ククノチ テクテク マナツノ ボウケン」を創作上演した。また、コロナ禍により令和2年度から延期となった「ポルノグラフィ」「未練の幽霊と怪物—『挫波』『敦賀』—」の上演を行い、後者は戯曲、身体表現、音楽の融合した高い芸術性と現代への批評性を表出したと高い評価を受けた。一方共催公演ではあるが、イスラエル・ガルバンの来日公演「春の祭典」を上演し、国際交流の困難な時代にその可能性を提示した。
- ・ 9月からのメインシーズンにおいては、毎年度テーマを掲げ、時代や劇場の動性を表現し、そのテーマから想起される作品をラインアップすることとし、令和3年度のテーマを『冒』とした。開幕を飾った長塚芸術監督演出の「近松心中物語」では、これまでの同戯曲のイメージを覆す同時代的な演出が、また野木萌葱の書き下ろし新作戯曲「湊横濱荒狗挽歌～新粧、三人吉三。」では、黙阿弥の名作を横浜を舞台に翻案するという挑戦が、注目を集めた。「ラビット・ホール」においては、海外戯曲をより豊かな日本語戯曲として上演する創作プロセスに取り組み、高い上演成果につながった。横浜市との共同主催である Dance Dance Dance の二演目、また SPAC との共同招聘である「Le Tambour de soie 綾の鼓」においては、実力あるアーティストが新たな創作に取り組み、後者はフランスでのクリエイションを日本の舞台芸術界に還元する貴重な機会、また公共劇場間の協働の機会となった。継続して取り組んでいる現代美術展 KAAT EXHIBITION は、映像作家志村信裕による「志村信裕展 | 游動」を開催し、舞台照明と映像表現とのコラボレーションで大きな成果をあげた。
- ・ 劇場をひらき、より多くの県民に演劇の喜びを届ける取組として、メインシーズンにおいても、カナガワ・ツアー・プロジェクト「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」の県内ツアーを行い、大いに好評を博した。また、過去に上演した作品を県民の財産として再演し未来につなぐ取組としては、「アルトゥロ・ウイの興隆」の上演を行った。
- ・ 名称、時期も新たに再出発した YPAM (横浜国際舞台芸術ミーティング) においては、横浜市や地域のステークホルダーとの協働を進め、身体障がい者を中心とした劇団態変による「さ迷える愛・序破急」三部作など、多様な表現を実現し社会をみつめる機会として県民に提供した。
- ・ 令和3年度から新たに取り組んでいるカイハツは、まさに創作環境と劇場の未来を背負う取組である。企画・人材カイハツ、創作プロセスカイハツ、戯曲カイハツの3つの柱を立て、その進

め方や価値、成果の共有を考えながら、始動した。令和4年度以降も継続的に取り組んでいきたい。またアトリウムを主たる会場とするフレンドシッププログラムも、劇場を「ひらいて」いくための大切な取組であり、社会連携ポータル部門との協働により少しずつ成果を積み重ねている。

- ・ 依然として新型コロナウイルスの感染は終息せず、関係者の不断の感染対策にもかかわらず、令和3年度中に、巡回公演も含めると、計15公演が中止となったが、その影響を最小限に留め、成果を示すことができた。

■ミッション「創造に挑む」

[9事業/10演目(96公演)・1企画(1回)/1展覧会 入場者数等 31,316人 配信等視聴者数 342]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
4月16日(金) ～18日(日)	中スタジオ	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース リーディング公演「ボルノグラフィ」 《4公演》	397	—
6月5日(土) ～26日(土)	大スタジオ	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「未練の幽霊と怪物—『控波』『敦賀』—」 《24公演》	4,310	—
①6月29日(火) ～30日(水) ②7月3日(土) ～4日(日)	巡回公演 《1演目》 ①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール 《2公演》 ②兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール 《3公演》		①1,045 ②1,848	—
8月27日(金) ～9月12日(日)	大スタジオ	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「湊横濱荒狗挽歌～新粧、三人吉三。」 《18公演・1企画》 ※9月12日(日)の内容をライブ配信および後日オンライン配信した(配信期間9月12日(日)～19日(日)) (1企画)	2,134	有料配信 視聴者数 342
9月4日(土) ～20日(月祝)	ホール	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「近松心中物語」 《15公演》	8,187	—
①9月25日(土) ～26日(日) ②【中止】 ③10月8日(金) ～10日(日) ④10月13日(水) ⑤10月16日(土)	巡回公演 《1演目》 ①北九州芸術劇場 中劇場 《3公演》 ②【中止】穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール ③兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール 《3公演》 ④枚方市総合文化芸術センター 関西医大 大ホール ⑤まつもと市民芸術館 主ホール ※公演関係者に新型コロナウイルス陽性が確認されたため②10月1		①1,223 ②中止 ③1,741 ④802 ⑤913	—

		日～3日の3公演を中止した		
9月9日(木) ～10月8日(金)	中スタジオ	KAAT EXHIBITION 2021 「志村信裕展 游動」 《1 展覧会》	4,176	—
9月23日(木祝) ～26日(日)	大スタジオ	KAAT DANCE SERIES 2021 × Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 「エリア 50 代」 《4 公演》	502	—
10月16日(土) ～17日(日)	ホール	KAAT DANCE SERIES 2021 × Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 Noism Company Niigata × 小林十市 「A JOURNEY～記憶の中の記憶へ」 《2 公演》	1,350	—
12月24日(金) ～26日(日)	大スタジオ	KAAT DANCE SERIES 2021 「Le Tambour de soie 綾の鼓」 《3 公演》	489	—
令和4年 2月23日(水祝) ～3月6日(日)	大スタジオ	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「ラビット・ホール」 《13 公演》 ※公演関係者に新型コロナウイルス陽性が確認されたため令和4年2月18日(金)～20日(日)の3公演を中止した ※令和4年3月12日(土)～3月13日(日)、兵庫県立芸術文化センターでの巡回公演(全2公演)を予定していたが、出演者が新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者に該当することが判明したため中止した	2,199	—

■ミッション「感動を分かち合う」

[6事業/20演目(146公演)・12企画(46回) 入場者数等 22,036人 配信等視聴者数 980]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
5月15日(土) ～6月6日(日)	アトリウム	新ロイヤル大衆舎×KAAT 「王将」-三部作- 《3演目 38公演・3企画 3回》 ※内容をオンライン配信した(配信期間7月9日(金)～15日(木))(3企画3回)	4,566	有料配信 視聴者数 290

6月6日(日) ～20日(日)	中スタジオ	KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「虹む街」 《14公演》	1,907	—
4月24日(土) ～5月16日(日)	中スタジオ 前通路	関連企画 稽古場見学 (自由公開) 《1企画》	100	—
7月12日(月) ～19日(月)	大スタジオ	KAAT キッズ・プログラム 2021 「ククノチ テクテク マナツノ ボ ウケン」 《9公演》	1,068	—
7月12日(月) ～19日(月)	アトリウム	関連企画 「いっしょにへんしん!お面づくり 体験」ワークショップ 《1企画》	404	—
令和4年 2月8日(火) ～16日(水)	中スタジオ	KAAT カナガワ・ツアー・プロジェク ト 第一弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 《10公演》	1,844	—
令和4年 ①2月19日(土) ～20日(日) ②2月23日(水祝) ③【中止】 ④【中止】 ⑤3月12日(土) ～13日(日) ⑥3月19日(土)	巡回公演 《1演目》 ①川崎市アートセンター アルテリオ小劇場 《3公演》 ②杜のホールはしもと ホール ③【中止】大和市文化創造拠点シリウス1階 芸術 文化ホール メインホール ④【中止】厚木市文化会館 小ホール ⑤小田原三の丸ホール 小ホール 《2公演》 ⑥ヨコスカ・ベイサイド・ポケット ※公演関係者に新型コロナウイルス陽性が確認されたため、③令和 4年2月26日～27日の2公演、④3月4日～5日の2公演を中止し た	①434 ②285 ③中止 ④中止 ⑤458 ⑥321	—	
KAAT フレンドシッププログラム				
①10月18日(月) ②11月3日(水祝) ③12月12日(日) 令和4年 ④1月18日(火) ⑤2月11日(金祝) ⑥3月26日(土)	ホール	「みんなの KAAT バックステージツ アー」 《1企画12回》	①23 ②22 ③30 ④20 ⑤25 ⑥25	—
11月24日(水) ～12月6日(月)	アトリウム	朗読「風の琴」 《1企画》	146	—

12月17日(金) ～18日(土)	アトリウム	YPAM連携プログラム タイ語アニメーション「hesheit」 ≪1企画5回≫	139	—
令和4年 2月1日(火) ～16日(水)	アトリウム	「横浜中華街 春節ランタンオブジェ展示」 (自由公開) ≪1企画≫	— ※	—
令和4年 ①2月26日(土) ②2月27日(日) ③3月19日(土) ④3月20日(日)	アトリウム 他	「タイムトラベルツアー マイナスY163」 ≪1企画12回≫	①60 ②50 ③56 ④38	—
提携事業				
令和3年 3月27日(土) ～4月11日(日) ※令和3年度内は計8回公演	ホール	シンフォニー音楽劇 「蜜蜂と遠雷」～ひかりを聴け～ ≪8公演・1企画≫ ※4月11日(日)の内容をライブ配信および後日オンライン配信した(配信期間4月11日(日)～13日(火)) (1企画)	2,248 ※令和3年度開催の8公演のみ	有料配信 視聴者数 605
4月9日(金) ～11日(日)	大スタジオ	「仕立て屋のサーカス “Circo de Sastre”」 ≪3公演≫	425	—
6月24日(木) ～27日(日)	中スタジオ	錬肉工房「盲人達」 ≪4公演≫	421	—
7月31日(土) ～8月1日(日)	大スタジオ	とりふね舞踏舎30周年記念二都公演 「サイ Sai」 踊るべき人は踊り、歌うべき人は歌え ≪2公演≫	100	—
8月12日(木) ～17日(火)	大スタジオ	五大路子 ひとり芝居 「横浜ローザ 赤い靴の娼婦の伝説」 25周年記念公演 ≪6公演・1企画≫ ※内容をオンライン配信した(8月22日(日)～9月5日(日)) (1企画)	818	有料配信 視聴者数 85
9月30日(木) ～10月3日(日)	大スタジオ	TAK in KAAT theater 045 syndicate 第3回劇場本公演 「ヨコハマ・ヤタロウ～望郷篇～」 ≪5公演≫	482	—
10月28日(木) ～11月7日(日)	大スタジオ	劇団た組「ぽに」 ≪13公演≫	2,457	—

12月3日(金) ～5日(日)	大スタジオ	OrganWorks2021-22 「ひび割れの鼓動」 hidden world code 《4公演》	377	—
12月4日(土) 「ブレスト！」 (講演会)				
令和4年 1月12日(水) ～16日(日)	大スタジオ	地点「ギャンブラー」 《5公演》	512	—
令和4年 1月21日(金) ～23日(日)	大スタジオ	Baobab 第14回本公演 Re:born project vol. 4-5 「UMU-うむ- fusion edit.」／「笑 う額縁」 《4公演》	527	—
令和4年 1月28日(金) ～30日(日)	大スタジオ	Co. 山田うん 新作2022 ストラヴィンスキープログラム 「春の祭典」「5本の指で」「ピア ノソナタ(1924)」《3公演》	426	—
令和4年 3月10日(木) ～13日(日)	大スタジオ	「黒田育世 再演譚」 《4公演》	568	—
令和4年 3月18日(金) ～21日(月祝)	大スタジオ	デフ・パペットシアター・ひとみ新 作人形劇「百物語」 《7公演》	654	—

※アトリウムでの自由公開のため、入場者数はカウントしない

■ミッション「つねに考える」

[3事業／8演目(21公演)・13企画(14回) 入場者数等3,557人 配信等視聴者数194]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
(共催公演)				
6月18日(金) ～20日(日)	ホール	KAAT DANCE SERIES 2021 「イスラエル・ガルバン 春の祭典」 《3公演》	1,701	—
横浜国際舞台芸術ミーティング 2021 (YPAM2021)				
12月9日(木) ～11日(土)	アトリウム	カンパニーデラシネラ 「TOGE アトリ ウム」 《3公演》	220	—

12月10日(金)	ホール	プロフェッショナル向けの KAAT バックステージツアー 《1企画》	4	—
12月10日(金) ～12日(日)	大スタジオ	Dance Base Yokohama 「DaBY パフォーミングアーツ・セレクション」 《5公演》	634	—
12月11日(土) ～12日(日)	中スタジオ	オル太「生者のくに」 《3公演》	168	—
12月17日(金) ～19日(日)	ホール	劇団態変 「さ迷える愛・序破急」 三部作 「翠晶の城-さ迷える愛・序」 「箱庭弁当-さ迷える愛・破」 「心と地-さ迷える愛・急」 《3演目3公演・3企画3回》 ※内容をライブ配信および後日オンライン配信した(配信期間 12月17日(金)～31日(金)) (3企画3回)	276	有料配信 視聴者数 194
12月17日(金) ～18日(土)	大スタジオ	ヤン・ジェン 「Jasmine Town」 《1企画2回》	100	—
12月17日(金) ～19日(日)	中スタジオ	カンパニーデラシネラ 「TOGE」 《4公演》	340	—
「カイハツ」				
9月7日(火) ～9日(木)	オンライン	創作プロセスカイハツ 「2022年度新作」 《1企画》	11	—
9月11日(土)	アトリエ	創作プロセスカイハツ 「2023年度事業」ワークショップ 《1企画》	6	—
10月26日(火) ～27日(水)	アトリエ	創作プロセスカイハツ 「掃除機」 《1企画》	11	—
12月16日(木) ～17日(金)、 19日(日)	アトリエ	創作プロセスカイハツ ミュージカル「夜の女たち」ワークショップオーディション 《1企画》	53	—

12月20日(月) ～22日(水)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「伊藤郁女ワークショップ」 《1企画》	13	—
令和4年 3月6日(日) ～10日(木)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「大池容子ワークショップ」 《1企画》	4	—
令和4年 3月24日(木) ～26日(土)、 28日(月) ～29日(火)	アトリエ	企画・人材カイハツ 「田中麻衣子ワークショップ」 《1企画》	8	—
令和4年 3月31日(木)	オンライン	戯曲カイハツ リーディング 《1企画》	8	—

■ミッション「未来につなぐ」

[3事業／3演目(40公演)・6企画(8回) 入場者数等40,328人 配信等視聴者数438]

開催日	会場	公演名・企画名	入場者数等 (人)	配信等 視聴者数
		「カイハツ」プロジェクト (再掲 詳細はミッション「つねに考える」 に記載。事業数、入場者数も「つねに考 える」で計上)	(再掲)	—
		教育普及事業 (フレンドシッププログラム) (再掲 詳細はミッション「感動を分かち合 う」に記載。事業数、入場者数も「感動を分 かち合う」で計上)	(再掲)	—
11月14日(日) ～12月3日(金)	ホール	「アルトゥロ・ウイの興隆」 《22公演》	20,956	—
①12月18日(土) ～26日(日) 令和4年 ②1月9日(日) ～16日(日)	①ロームシアター京都 メインホール 《10公演》 ②豊洲PIT 《6公演》 ※公演関係者に新型コロナウイルス陽性が確認されたため②のうち 令和4年1月13日(木)～14日(金)の3公演を中止した	巡回公演 《1演目》	①13,327 ②5,809	—
人材育成事業				

令和4年 ①1月25日(火) ②2月9日(水)	オンライン	KAAT+YNU 「芝居の大学 公開オンライン講座 第Ⅱ期-移動型公共劇場はいかにして可能か」 ≪1企画2回≫ ※内容をライブ配信した(1企画2回)	0	無料配信 事前申込制 視聴者数 ①22 ②48
令和4年 ①2月6日(日) ～23日(水祝) ②2月7日(月) ～3月25日(金)	全館	2021年度・後期 インターン ①劇場運営 ②舞台技術 ≪1企画1回≫	①2 ②3	—
令和4年 3月24日(木) ～25日(金)	ホール	KAAT 舞台技術講座 2021 「舞台で働くすべての人に共通理解を」 ～劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン～実践編 ≪1企画2回≫ 【プログラムA】 「How to 施設とカンパニーとの打ち合わせ～作業現場における安全管理の基本～」 【プログラムB】 「高所作業をイチから学ぶ」	A 57 B 36	—
(配信期間) 令和4年 3月31日(木)～	オンライン	KAAT 舞台技術講座 2021 「舞台芸術×障がい者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」 ≪1企画≫ ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	無料配信 視聴者数 91
(配信期間) 令和4年 3月31日(木)～	オンライン	「視覚言語がつくる演劇のことば」 ①短編作品『夢の男』 ②アフタートーク ≪1企画≫ ※内容をオンライン配信した(1企画)	0	無料配信 視聴者数 100
(共催公演)				
令和4年 3月26日(土) ～27日(日)	大スタジオ	マグフェス'22 かながわ短編演劇アワード2022 演劇コンペティション/戯曲コンペティション ≪2公演・1企画≫ ※内容をライブ配信した(1企画)	138	無料配信 視聴者数 177

(その他の取組)

事業数、入場者数等の統計カウントには含まない

取組	内容
----	----

<p>シーズン制の導入</p>	<p>4月に長塚圭史が芸術劇場芸術監督に就任。劇場にリズムと季節感を取り入れるため、劇場にシーズン制を導入。春から夏をプレシーズン、秋から冬をメインシーズンと位置づけ、毎年テーマを掲げる。令和3年度のテーマは「冒」。“飛び出す、はみ出す、突き進む”の「冒」を旗印に、令和4年3月末まで9プログラムを実施した。</p> <p><メインシーズン「冒」の展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日（木）：芸術劇場ホームページに芸術監督メッセージを掲載 ・ 4月15日（木）：外壁の貼替え ・ 8月20日（金）：外壁をメインシーズン仕様（「冒」）に貼替え ・ 8月23日（月）：アトリウム内フラッグをメインシーズン仕様（「冒」）に吊替え ・ 8月27日（金）：チラシ配布時に使用しているナイロン袋のデザインを「冒」デザインに変更するとともに、バイオマスを用いた環境負荷の少ない素材に変更 ・ 8月27日（金）：広報誌リニューアル（季刊誌 神奈川芸術劇場「KAAT PAPER」創刊） ・ 令和4年1月11日（火）：外壁をメインシーズン後半仕様（「冒」）に貼替え
<p>アトリウム映像プロジェクト</p>	<p>芸術劇場エントランスに広がるアトリウムに、映巨大映像を上映した。</p> <p>①Vol.17：志村信裕《dot》（2012）、《beads》（2012） 期間：4月1日（木）～6月28日（月）</p> <p>②Vol.18：志村信裕《Goldfish》（2010） 期間：6月29日（火）～10月8日（金）</p> <p>③Vol.19：諫山元貴《Order#8》（2021） 期間：10月9日（土）～令和4年1月31日（月）</p> <p>④Vol.20：八木良太《First Light》《Time Resonance》《Sea & Metronome & Eye》 期間：令和4年2月2日（水）～3月31日（木）</p>
<p>「監督対談 白井晃×長塚圭史 Vol.2」映像配信</p>	<p>4月に交代した芸術劇場の芸術監督対談の第2弾。2人の思いや考え方を語るクロストークを配信した。</p> <p>4月12日（月）配信開始</p>
<p>長塚圭史芸術監督によるインスタライブ</p>	<p>芸術劇場をより多くの方に身近に知ってもらうため、長塚圭史芸術監督が進行役を務め、公演の見どころや自身の思いを語り、主催公演のアーティストらとのトークを生配信で行った。後日アーカイブでも配信。コロナ禍前の公演のアフタートークに代わる企画として、Instagramでの展開を活用した。</p> <p>①KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「ポルノグラフィ」 開催日：4月15日（木） 出演：桐山知也、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：60名</p> <p>②KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「虹む街」 開催日：6月13日（日） 出演：タニノクロウ、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：93名</p> <p>③KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「未練の幽霊と怪物ー『控波』『敦賀』ー」 開催日：6月26日（土） 出演：岡田利規、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：133名</p>

	<p>④KAAT キッズ・プログラム 2021「ククノチ テクテク マナツノ ボウケン」 開催日：7月12日（月） 出演：北村明子、大小島真木、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：44名</p> <p>⑤KAAT2021 年度 メインシーズン「冒」～シーズン開幕にあたって～ 開催日：8月20日（金） 出演：長塚圭史 リアルタイム視聴人数：82名 ※SNS キャンペーン「#わたしの冒」エピソード（コメント）の募集を開始し、年度を通じて実施した。</p> <p>⑥KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「湊横濱荒狗挽歌～新粧、三人吉三。」 開催日：8月28日（土） 出演：シライケイタ、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：93名</p> <p>⑦KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「近松心中物語」 開催日：9月5日（日） 出演：長塚圭史 リアルタイム視聴人数：94名</p> <p>⑧KAAT EXHIBITION 2021「志村信裕展 游動」 開催日：9月8日（水） 出演：志村信裕、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：55名</p> <p>⑨KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「近松心中物語」 開催日：9月15日（水） 出演：松岡和子（翻訳家・演劇評論家）、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：72名</p> <p>⑩KAAT DANCE SERIES 2021 ×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021「エリア50代」 開催日：9月23日（木祝） 出演：小林十市、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：149名</p> <p>⑪KAAT DANCE SERIES 2021 ×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021 Noism Company Niigata×小林十市「A JOURNEY～記憶の中の記憶へ」 開催日：10月17日（日） 出演：金森穰、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：113名</p> <p>⑫「アルトゥロ・ウイの興隆」 開催日：12月1日（水） 出演：白井晃、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：834名</p> <p>⑬KAAT DANCE SERIES 2021「Le Tambour de soie 綾の鼓」 開催日：12月24日（金） 出演：伊藤郁女、笈田ヨシ、長塚圭史 リアルタイム視聴人数：49名</p>
<p>KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「近松心中物語」製作発表会見</p>	<p>開催日：7月20日（火） 会場：大スタジオ 登壇者：田中哲司、松田龍平、笹本玲奈、石橋静河、長塚圭史 参加人数：報道各社 約90名</p>

<p>季刊誌 神奈川芸術劇場 「KAAT PAPER」発行</p>	<p>芸術劇場の広報誌が、季刊誌 神奈川芸術劇場「KAAT PAPER」としてリニューアル。劇場に足を運んだことがない方にもKAATを知ってもらうことを念頭に、芸術監督・長塚圭史と異ジャンルのゲストとの対談や、芸術監督が今、話してみたい“街の人”を訪ねる「神奈川へ、会いに」、行きつけの飲食店の紹介等、親しみやすい誌面構成とした。館内、都内近郊の劇場のほか、近隣の飲食店・店舗等にも配架した。 ①2021 秋号 8月27日(金)発行 ②2021 冬号 12月12日(日)発行</p>
<p>神奈川県厚生福利振興会企画県民教養講座 高校生招待</p>	<p>神奈川県厚生福利振興会が企画する県民教養講座として、KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「近松心中物語」、KAAT DANCE SERIES 2021×Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021「Noism Company Niigata×小林十市『A JOURNEY～記憶の中の記憶へ』」の観劇に県内の高校生を合計57人招待した。 対象：神奈川県在住または神奈川県内公立高校に在学する高校生 実施日：9月11日(土)～12日(日)、10月16日(土)～17日(日)</p>
<p>2022年度 KAAT 神奈川芸術劇場ラインアップ発表</p>	<p>芸術監督・長塚圭史が、オンライン会見映像にて令和3年度の振り返りと令和4年度の年間プログラムの概要を発表。各プログラムの演出家からはビデオメッセージにてコメントをいただいた。ラインアップ発表会見映像は、令和4年3月7日(月)よりKAAT YouTubeチャンネルにてアーカイブ公開した。 開催日：令和4年2月28日(月)</p>

(受賞)

事業数、入場者数等の統計カウントには含めない

賞	内容
<p>第29回読売演劇大賞 優秀演出家賞</p>	<p>受賞者：岡田利規 受賞対象：KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「未練の幽霊と怪物—『挫波』『敦賀』—」(6月上演)ほかにおける演出</p>
<p>第25回鶴屋南北戯曲賞</p>	<p>受賞者：岡田利規 受賞作：KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「未練の幽霊と怪物—『挫波』『敦賀』—」(6月上演)</p>
<p>第63回(2021年度)毎日芸術賞 演劇・邦舞・演芸部門</p>	<p>受賞者：風間杜夫 受賞対象：KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「セールスマンの死」(令和3年1月上演)ほかにおける演技</p>
<p>第40回 2020年度 日本照明家協会賞 舞台部門 優秀賞 ※</p>	<p>受賞者：高田政義(株式会社RYU) 作品名：KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「オレステスとピュラデス」(令和2年11月～12月上演)</p>
<p>第40回 2020年度 日本照明家協会賞 舞台部門 努力賞 ※</p>	<p>受賞者：櫛田晃代 作品名：KAAT DANCE SERIES 2019 「NIPPON・CHA!CHA!CHA!」(令和2年1月上演)</p>

※「2020年度日本照明家協会賞」は令和3年5月に発表されたため、令和3年度の記録として記載した



KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
「近松心中物語」
9月4日（土）～20日（月祝）
撮影：阿久津知宏

2. 施設運営・利用者サービス 公1 収1 収2

(1) 県民ホール

ア 芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公1

- ・ 令和3年度の利用率は、大ホール 65.0%、小ホール 77.8%、大会議室 74.2%、ギャラリー72.5%であった。
- ・ 令和3年3月24日より令和4年3月21日まで、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県の対処方針に基づき、劇場は経済活動を停止させないため、法によらない「営業時間短縮等の働きかけを行う施設」に分類された。年間利用率は平均して例年の8割程度まで回復した。
- ・ 入場者数は、335,833人で回復傾向に、利用料収入も217,356千円で見込みを上回った。過去の水準にはまだ達していないが、徐々にホールにお越しくくださる方、利用者の方が増えているという印象を持つことができた。
- ・ 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、劇場ガイドラインの更新を随時行ったほか、館内の消毒、来館者の検温・手指消毒への協力、スタッフのマスク着用の徹底を継続した。利用手続きについては、来館によらない方法を併用し、利用者、来館者の感染防止にも引き続き取り組んだ。また、大小ホール客席・備品、会議室等に抗ウイルス・抗菌コーティングを施した。
- ・ 前年度に増して老朽化による設備の障害発生頻度が高まっている。今後施設を安全且つ安定して運営していくために、施設・設備の両面にわたる老朽化対策を早急に進め、長期修繕計画を取りまとめ着実に実施していく必要がある。
- ・ 運営面においては、利用者ニーズに応え、多様化する催し物の特性に合わせて利用時間や南口玄関の開扉時間を柔軟に運用するなど継続して利用者サービスの向上に努めた。
- ・ 会場案内においては、子どもから高齢者、障がいをもつ方々など様々な来場者にきめ細やかな対応を行い、高齢者や足の不自由な方に対しての業務用エレベータによる案内や大ホール主共催公演での3階席へのエレベータの直通運転を継続して行っている。また、事故防止のため、大・小ホールロビー階段の視認性を高めるための工事を行った。

イ 県民ホールの施設を活用する事業 収2

- ・ 公益目的の利用が見込まれない場合は、大・小ホール、会議室の機能を活かした各種大会、講演会、会議等の利用を促し、その収益を公益目的事業の財源に充当した。

ウ 駐車場の運営等 収1

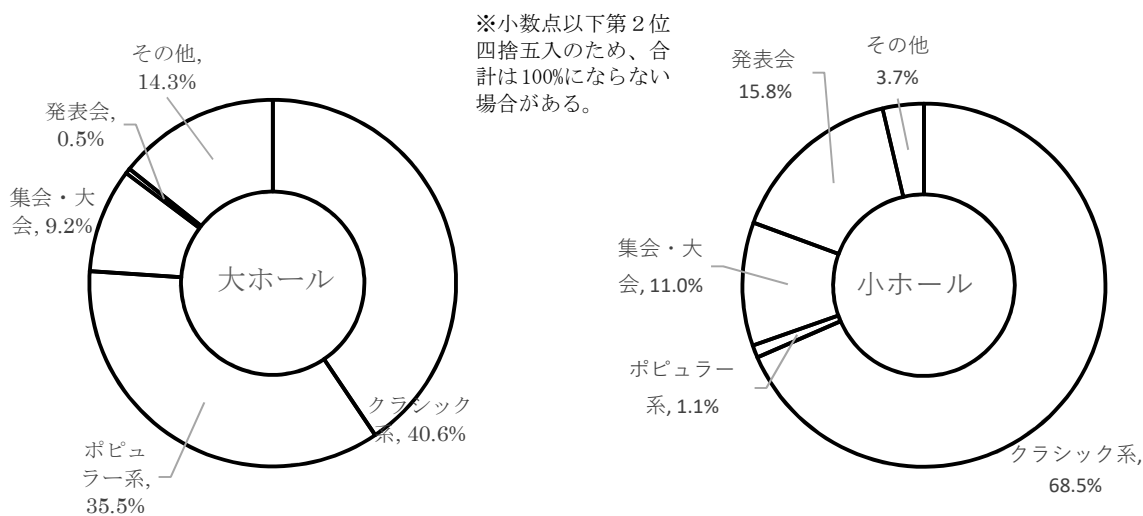
- ・ 自動車来館者のための駐車場の管理運営業務を行った。障がい者対応として、引き続き来館の際の事前予約を実施し、サービスの向上を図った。

◆ 主要施設別利用状況

※その他施設…小会議室、リハーサル室等

		大ホール	小ホール	大会議室	ギャラリー	その他施設
年間日数		365日	365日	365日		
休館日数		6日	6日	7日		
保守点検日数		25日	21日	2日		
利用可能日数 A		334日	338日	356日	延べ室数 1,725室	
利用日数	主催事業	9日	58日	21日	延べ室数 454室	
	共催事業	30日	13日	0日	延べ室数 56室	
	一般利用	178日	192日	243日	延べ室数 740室	
	計 B	217日	263日	264日	1250室	
空き日 A-B		117日	75日	92日	475室	
利用率 B/A		65.0%	77.8%	74.2%	72.5%	
入場者数		255,752人	25,966人	15,383人	32,323人	6,409人
合計入場者数		335,833人				
利用料金収入		217,356,709円				

◆ ジャンル別利用状況



◆ 令和3年度に行った神奈川県執行による主な施設設備修繕・改修等

- ・ 非常放送設備改修工事

概要：1階防災センターに設置してある非常放送設備（非常放送盤）が故障したため取り替え
 契約金額：10,837,200円

- ・ 2階喫茶室グリストラップ改修工事

概要：2階喫茶室のグリストラップが劣化し漏水の危険があるため取り替え
 契約金額：4,022,700円

- ・ 小ホール舞台床改修工事
概要：小ホール舞台ステージ（床）のいたみが激しいため張り替え
契約金額：4,895,000 円
- ・ 地下冷水ポンプ改修工事
概要：設置から 45 年が経過し劣化してきた地下冷水ポンプを取替
契約金額：4,840,000 円

◆令和 3 年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

- ・ 3 階大ホール LAN ケーブル用配管工事
概要：大ホールでの配信用に、配管および LAN ケーブルを敷設
契約金額：794,200 円
- ・ 小ホール A 階段他補修工事（小ホールノンスリップ取替、A 階段壁補修）
概要：小ホール A 階段 2 階から 4 階壁に亀裂が入っているため補修
小ホール入口階段のノンスリップが劣化しているため取替
契約金額：995,500 円
- ・ 休養室等換気改良工事（1 階休養室等換気改良、地階ポンプ取替）
概要：1 階休養室換気の換気量を増やすため天井換気扇を取り付け
大ホールロッカー室の天井に吸い込みグリルを設置し排気量を増やす
地下駐車場排水ポンプが故障しているため交換
契約金額：869,000 円

(2) 芸術劇場

ア 芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公1

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県の基本対処方針に基づき、国の緊急事態措置又はまん延防止等重点措置等に応じた対応を実施するとともに、引き続き感染対策を徹底した。コロナ禍においても上演機会の確保に努め、令和3年度のホール利用率は94.3%となり、コロナ禍以前と変わらない高水準を維持することができた（令和2年度75.3%）。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用・来館に際しても感染拡大防止を図った。館内の消毒、サーモグラフィの設置やスタッフのマスク着用の徹底、各所のアクリルパーテーションや足元マットの設置、換気の強化など、安心安全な運営のための徹底した感染症対策を引き続き実施した。また、感染状況を踏まえた劇場ガイドラインの改定や、感染者発生の際の対応フローチャートの改定など、素早く適切な判断と対応が行えるような体制の整備とその運用に積極的に取り組んだ。感染拡大期に、主催事業で新型コロナウイルスの陽性者が確認されることも続いたが、劇場内で整備した感染対策マニュアルやフローチャートに沿って、都度迅速に対応し、クラスターを発生させることはなく、影響が最小限にとどまるよう、できるかぎり上演継続ができるよう尽力し、ノウハウを積み重ねることができた。
- ・ 令和3年度は、これまで4年連続で長期貸館を行ってきた劇団四季の利用がない年となった。利用料収入を確保するため、話題性の高い宝塚歌劇団の4作品を誘致したり、これまでに利用のなかった新規団体に広く営業を強化した。長期の貸館に対応できることを早期から情報提供に努めた効果もあり、1週間以上～1か月の比較的長期の多くの貸館を誘致でき、様々な世代の鑑賞機会の確保とバラエティに富んだ作品を上演することができた。利用料収入も例年に比べて落ち込むこともなく、劇団四季の利用がない状況でも十分な成果を得ることができた。
- ・ 施設の維持管理においては、主要な委託業務を近接する県民ホールと一体的に運用することで効率化に努めるとともに、利用状況に対応した設備点検計画を作成し、効率的な業務実施体制を整備した。
- ・ 運営面においては、利用実績と利用者からの要望等を参考に、柔軟な対応や調整作業を行い、利用者の満足度の向上に努めるとともに、感染症対策面でも、劇場ガイドラインに沿って対策をとると同時に、利用者の意向を把握しながら丁寧に協力要請を行った。
- ・ 合同施設の管理組合構成員であるNHK横浜放送局や県とは定期協議の場を設け、アトリウムの利用調整を図るほか、感染症対策に関して積極的に情報交換をし、合同施設一体となった対応を行った。

イ 芸術劇場の施設を活用する事業 収2

- ・ 令和3年度は、学術会議や講演会などの公益目的以外の一般利用はなかった。

ウ 駐車場の運営等 収1

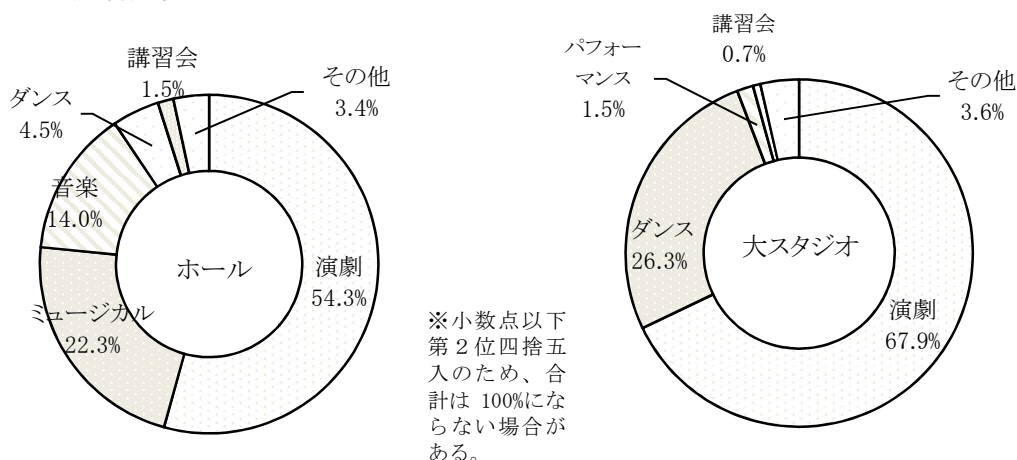
- ・ 地下駐車場の管理運営を行った。駐車場構内や自動二輪駐輪場の写真をホームページに掲載し、屋内駐車場であることの安心感等をアピールし、周辺の屋外コインパーキングとの差別化を図るとともに、当日上限料金の適用などを継続し利用向上に努めた。
- ・ 合同施設免震ゴム交換工事の開始に伴い、工事で使用する駐車場部分について利用者や来館者への影響が最小限になるように調整を行った。

◆主要施設別利用状況

※その他施設…中スタジオ、小スタジオ、アトリエ等

		ホール	大スタジオ	その他施設
年間日数		365日	365日	
休館日数		8日	8日	
保守点検日数		76日	19日	
利用可能日数 A		281日	338日	
利用日数	主催事業	86日	172日	
	共催事業	4日	6日	
	提携事業	11日	79日	
	一般利用	164日	17日	
	計 B	265日	274日	
空き日 A - B		16日	64日	
利用率 B / A		94.3%	81.1%	
入場者数		160,253人	23,961人	30,166人
合計入場者数		214,380人		
利用料金収入		170,408,815円		

◆ジャンル別利用状況



◆令和3年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

・ シルバープリーツ網戸取付工事

概要：新型コロナ対策として、ホールホワイエ等の扉を開けて外気を取り入れているが、虫の侵入が多いので、網戸を設置し侵入を防ぐ。

契約金額：838,640円

・ 劇場内各所手摺設置工事

概要：劇場内の保守用階段に手すりを追加し、保守作業の安全性を向上させる。

契約金額：363,000円

(3) 音楽堂

ア 芸術文化に関する施設維持管理運営事業 公1

- ・ 新型コロナの影響で、本年度も引き続き主催・共催事業、貸館の中止・延期が発生した。特に、学校関係の利用は低調であった。コンサート利用は徐々に回復する兆しもあるが、従来の水準には届かない状況であり、利用率は昨年度より 32.3%増の 63.4%となった。利用率の低調は利用料収入の減に直結しており、今後の運営における大きな課題となっている。
- ・ 感染症拡大防止のため、従前の対策に加え、施設面での対策としてホワイエと楽屋等の抗菌シールド施工、舞台袖および1階楽屋廊下への高性能空気清浄機設置を行った。
- ・ 感染状況や業界基準等の新たな知見を踏まえて検討し、令和4年3月、利用者からの要望の高かった舞台上の人数制限を一部緩和することを含むガイドラインの改定を行った。
- ・ 8月に県立図書館とともに「神奈川県指定重要文化財」の建造物に指定された。今後、更に建築的な関心を集めていくと思われる中、ボランティアグループ bridge による「前川建築見学ツアーin 音楽堂」は、感染症対策上の参加人数制限、ガイドのマイク着用などを行いつつ、年4日間全8回実施。いずれも定員いっぱいとなり、好評であった。
- ・ 紅葉ヶ丘公立文化施設五館の連携活動、通称「紅葉ヶ丘まいらん」では、合同イベントを実施。紅葉ヶ丘一体の文化環境の豊かさを地域の方々に知っていただけるよう取り組んだ。

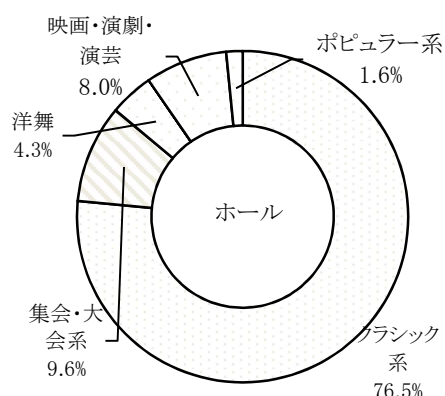
イ 音楽堂の施設を活用する事業 取2

- ・ 公益目的の利用（音楽公演等）が見込まれない場合は、講演会あるいは研修会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当した。

◆ 施設利用状況

		ホール
年間日数		365 日
休館日数		54 日
貸出不能日		16 日
利用可能日数 A		295 日
利用日数	主催事業	28 日
	共催事業	32 日
	一般利用	127 日
	計 B	187 日
空き日 A - B		108 日
利用率 B / A		63.4%
入場者数		51,476 人
利用料金収入		24,998,437 円

◆ジャンル別利用状況



※小数点以下第2位四捨五入のため、合計は100%にならない場合がある。

◆令和3年度に行った財団執行による主な施設設備修繕・改修等

- 空調ウイルスガードフィルター設置工事
 概要：コロナ対策として、空気清浄フィルターを設置。
 契約金額：858,000円
- 第2楽屋室外機基盤交換
 概要：室外機の故障により交換
 (平成30年度改修工事対象外の部分)
 契約金額：160,952円

(その他の取組)

事業数、入場者数等の統計カウントには含まない

取組	内容
紅葉ヶ丘まいらん (紅葉ヶ丘5館連携事業) (連携団体) 神奈川県立音楽堂、神奈川県立図書館、神奈川県立青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリー	①5館合同イベント 当初5館での開催予定だったが、音楽堂・能楽堂の2館での開催となった。 音楽堂会場では、パネルなどによる「音楽堂クイズ」を実施。また、5館を紹介する展示を行った。(令和4年1月23日(日)) ②5館合同でチラシ等を作成 ・ イベント等の告知および「紅葉ヶ丘まいらんさんぽマップ」を周知するチラシを作成した。 ・ 上記イベント等でノベルティとして使える「紅葉ヶ丘まいらんさんぽマップクリアファイル」を作成した。



神奈川県指定重要文化財(建造物)への指定

令和3年8月13日(金)指定。音楽堂が、長い歴史の中で守り伝えられてきた貴重な財産であるのみならず、将来の文化の向上発展の基礎をなすものとして認められた。

撮影：畑亮

3. 本部事業、その他事業 公1 取2 法人

(1) 社会連携ポータル部門 公1

ア 社会連携ポータル事業

令和3年度から、社会と芸術をつなぐ窓口＝ポータルとなるべく社会連携ポータル部門を財団に作り、これまで各館で取り組んできた、専門人材育成プログラム、学校教育へのアプローチ、あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ、地域との連携を強化する機能を社会連携ポータル事業に集約した。財団のミッション「感動を分かち合う」を、より多くの方と分け隔てなく感動を分かち合うために、「未来につなぐ」をより多くの方の未来に芸術文化が届くように、各館と協働し取り組んだ。初年度である本年は、これまでの知見を集約しさらに進めた取組に加え、知見が少なかった分野にモニターの方を招いた意見交換会などの実施により知見を得るための取組を行い、令和4年度以降に向けてこの社会連携の機能をさらに進めていく体制を整えた。

■社会連携ポータルの取組

※県民ホール、芸術劇場、音楽堂の3館共通の取組であり、各施設の芸術文化事業と重複した項目は、再掲としている。

①専門人材育成プログラム

舞台芸術・劇場運営分野の専門人材育成

日時	取組名	詳細
令和4年 3月24日(木) ～25日(金)	KAAT／舞台技術講座2021 「舞台で働くすべての人に 共通理解を」(再掲)	劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン～実践編として実施。 A「How to 施設とカンパニーとの打ち合わせ～作業現場における安全管理の基 本～」、B「高所作業をイチから学ぶ」
令和4年 3月31日(木)～	KAAT／舞台技術講座2021 「舞台芸術×障がい者～舞 台技術者がインクルーシブ シアターを考える～」(再 掲)	障がいのある方や必要としている方への鑑賞サービスについて学び、舞台技術者にとってのインクルーシブシアターとは何かを考察する講座。発達・知的障がいのある方への鑑賞サービスを題材に実施。 (オンデマンド配信)
令和4年 3月30日(水)	神奈川県民ホール／劇場運 営マネジメント講座 シリーズ「これからのイン クルーシブ社会と公立文化 施設の取り組み」(再掲)	第14・15回情報のユニバーサルデザイン ①「ウェブアクセシビリティ」の重要性(基礎編) ②「ウェブアクセシビリティ」の実践と検証 (実践編)

インターン・研修生の受け入れ

日時	取組名	詳細
9月26日(日) ～11月14日(日)	音楽堂／室内オペラ制作・ 広報インターン(再掲)	室内オペラ「シャルリー～茶色の朝」を中心に、正規プログラムおよび実務体験プログラムの2つの枠組で実施。
11月25日(木) ～ 令和4年 1月11日(火)	神奈川県民ホール／インタ ー ン 「公共ホールでの文化事業 の実習」(再掲)	「ファンタスティック・ガラコンサート」を中心に、事業制作と施設運営の両面から公立文化施設を体験し、学ぶプログラムを必修4日間と選択期間の枠組で実施。
令和4年 2月6日(日) ～23日(水祝)	KAAT／後期インターン(劇 場運営) (再掲)	「冒険者たち～JOURNEY TO THE WEST～」の芸術劇場公演および川崎、相模原(2/19、20、23)での巡回公演を中心に実地体験とレクチャーのプログラムを実施。
令和4年 2月7日(月) ～3月25日(金)	KAAT／後期インターン(舞 台技術) (再掲)	舞台技術コースは、感染状況を踏まえて実地研修は実施せず、施設見学、研修参加等のレポート提出とフィードバックのプログラムを実施。

教育機関との連携による人材育成

日時	取組名	詳細
11月2日(火) 9日(火)	大学連携 昭和音楽大学	音楽芸術運営学科の必修科目「芸術文化と社会」、「芸術運営論」の講義を実施 (受講者：20名)
令和4年 ①1月25日(火) ②2月9日(水)	KAAT／大学連携 KAAT+YNU「芝居の大学 公 開オンライン講座 第Ⅱ 期」(再掲)	「移動型公共劇場はいかにして可能か」(ライブ配信) 第6回「公共の文化施設が行う地域での事業展開」 第7回「移動型公共劇場が生み出す舞台表現と場の力」
通年	神奈川県民ホール／大学連 携 「東京音楽大学 Act Project」(再掲)	東京音楽大学と連携し、公演の実現に向けて制作業務にチームで取り組むことを体験し、2月27日(日)に公演を開催するプログラム

②学校教育へのアプローチ

教育現場へのアプローチ

日時	取組名	詳細
6月28日(月)	神奈川総合高校舞台芸術科研 修	舞台芸術科1年次の校外学習として、芸術劇場施設の解説や長塚芸術監督との質疑応答など。 (受講者：29名) ※令和4年度は芸術劇場の芸術文化事業(教育普及事業)として実施予定

10月8日(金)	音楽堂／アウトリーチ芸術家派遣授業 座間市立東原小学校(再掲)	打楽器コンサート「いろいろな音を楽しもう」& 楽器体験ワークショップ 打楽器コンサートとワークショップを実施。打楽器奏者 若鍋久美子、他
11月9日(火)	音楽堂／アウトリーチ芸術家派遣授業 厚木市立北小学校(再掲)	箏の演奏鑑賞と体験 「さくら」を演奏体験。講師：箏奏者 丸田美紀、他
11月12日(金)	音楽堂／アウトリーチ芸術家派遣授業 厚木市立毛利台小学校(再掲)	同上
11月15日(月)	音楽堂／アウトリーチ芸術家派遣授業 川崎市立西御幸小学校(再掲)	同上
11月26日(金)	音楽堂／アウトリーチ芸術家派遣授業 横須賀市立豊島小学校(再掲)	同上
令和4年 2月1日(火)	音楽堂／先生のためのアウトリーチ(再掲)	茅ヶ崎・寒川地域音楽教科研究会の教員を対象とした、箏の授業での指導法について、実演による講座。(ライブ配信) 講師：箏奏者 丸田美紀、他

③あらゆる人々が芸術文化に親しめることを目指すインクルーシブアプローチ

日時	取組名	詳細
4月～	情報保障／情報発信	情報が必要な方への確に情報を届ける取組として、一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟と公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会、特定非営利法人神奈川県視覚障害者福祉協会の協力により、当該団体のWEB 媒体や SNS や会報誌等による情報発信を開始。
5月30日(日)	情報保障/鑑賞サポート 神奈川県民ホール／「オーブ ンシアター2021」	手話通訳の配置、多言語(英語・中国語・韓国朝鮮語)通訳配置、公演パンフレットの「やさしい日本語」表記(協力：公益財団法人かながわ国際交流財団)、チラシへの英語併記。
6月22日(火)	インクルーシブ／ユニバーサルデザイン化 音楽堂／バリアチェック	車椅子ユーザーの視点からのアクセスから音楽堂館内のバリアをチェック。 協力：元バリアフリーコンサルタント 三ツ木俊之
9月3日(金)	インクルーシブ／ユニバーサルデザイン化 視覚障がい者への対応研修	視覚障がいの方を受け入れるための研修を実施。 協力：神奈川県視覚障害者情報センター 会場：県民ホール小ホール (受講者：財団職員、関係者計19名)

9月8日(水) 9日(木)	情報保障/鑑賞サポート KAAT/「近松心中物語」	聴覚障がいの方に、開演前の手話通訳を配置した事前レクチャーを実施。(8日のみ)、ポータブル字幕タブレットによる字幕の提供。(利用者:3名)
9月25日(土)	情報保障/鑑賞サポート 神奈川県民ホール/舞台芸術講座青島広志の 「もっと知りたい!想像する女性!」	視覚障がいの方に、鑑賞サポートを実施。開演前の事前レクチャー、点字曲目リストの配付。モニターの方との意見交換会も実施。協力:特定非営利法人神奈川県視覚障害者福祉協会(モニター参加者:視覚に障がいがある方5名、同行援護従事者1名、同行者3名)
11月24日(水) ~12月6日(月)	情報保障/鑑賞サポート/KAAT/ KAAT フレンドシッププログラム 朗読「風の琴」	視覚障がいの方に、触る絵、音声ガイド、点字プログラム、拡大文字プログラムを提供。モニターの方による意見交換会も実施。聴覚障がいの方に、動画に字幕を挿入。時間の制約がなく、明るい空間で自由に鑑賞できるプログラム。(モニター参加者:視覚に障がいのある方1名)
12月17日(金) ~18日(土)	情報保障/鑑賞サポート・多言語/KAAT/ KAAT フレンドシッププログラム タイ語アニメーション「hesheit」	多言語:タイ語音声+バリアフリー日本語字幕。聴覚障がいの方に、手話動画を提供。
令和4年 3月3日(木) 4日(金)	情報保障/鑑賞サポート KAAT/「ラビット・ホール」	聴覚障がいの方に、開演前の手話通訳を配置した事前レクチャー(4日のみ)、メガネ型ポータブル字幕機による字幕を提供。(利用者:5名)
令和4年 3月20日(日)	情報保障/鑑賞サポート/KAAT/ KAAT フレンドシッププログラム 「タイムトラベルツアーマイナスY163」	聴覚障がいの方のための回を実施。手話通訳配置、UDトークによる文字情報の提供、難しい単語の解説をパンフレットとともに配付。(協力:一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟 河原雅浩)(参加者:5名)
令和4年 3月31日(木)~	インクルーシブ/ユニバーサルデザイン化 KAAT/「視覚言語がつくる演劇のことば」	視覚言語に軸を置いた演劇体験をろう者と聴者がつくるプロジェクト。映像作品、アフタートークの映像の配信開始。アフタートークは手話動画を提供。(オンデマンド配信)
令和4年 3月~	情報保障/鑑賞サポート 社会連携ポータルwebサイト	3館の鑑賞サポートの情報などを掲載するサイトの活用を開始

④地域との連携（県域ネットワーク）

日時	取組名	詳細
7月～	県内各文化施設とのネットワークによる巡回公演の実施	<p><神奈川県民ホール> ○神奈川県民ホール巡回事業 みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」 （海老名市文化会館、ヨコスカ・ベイサイド・ポケット） ○県域巡回事業 子どものためのワークショップ付コンサート「カルメン」 （寒川町民センター） ○県域巡回事業 子どものためのステージ見学＋ワークショップ付コンサート「くるみ割り人形の世界へようこそ」 （クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)） <芸術劇場> ○KAAT カナガワ・ツアー・プロジェクト第一弾「冒険者たち～JOURNEY TO THE WEST～」 （川崎市アートセンター、杜のホールはしもと、小田原三の丸ホール、ヨコスカ・ベイサイド・ポケット（公演中止：大和市文化創造拠点シリウス・厚木市文化会館））</p>

⑤その他ミッションを達成するための取組

取組みの詳細

社会連携ポータル web サイト公開（社会連携ポータルの4つの機能の情報提供）
アーツカウンシルネットワークへの参加
社会連携ポータル課研究事業「文化と社会研究会」 「第3の場所」としての文化施設の実現に関する研究会および報告書の発行。 第1回 人が場をつくる 講師：小田原市民ホール館長 大石 時雄 第2回「まちの居場所」 講師：実践女子大学生生活科学部生活環境学科教授 橘 弘志 第3回 なぜ福祉が場を開くのか、劇場は果たして開けるのか？—カプカプの実践から 講師：生活介護事業所カプカプ所長・演劇ライター 鈴木 励滋 第4回 自宅でも職場・学校でもない、人びとに開かれた「第3の場所」としての文化施設の実現研究討議

(2) 共生共創事業（県からの受託事業）

- 神奈川県「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる ともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる、県の事業「共生共創事業」を令和3年度も継続して受託した。鑑賞の機会の創出だけではなく、県民の参加型企画やワークショップなど多面的に展開した。しかしながら、この一年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面での活動や有観客での発表の形式がほぼ不可能となった。こう

した社会状況においても、オンラインでの稽古や発表会、映像作品の制作など、絶え間なく参加の機会を創出し、「ともに生きる ともに創る」の実現に寄与することができた。

- ・ 共生社会の推進に資する県域の文化資源等の調査を実施し、調査報告を作成した。
- ・ 地域における文化施策推進体制の構築促進を目的とした文化庁補助金（文化芸術創造拠点形成事業）に採択されたことから、県の補助金交付団体の実施する文化事業の現地確認を行うなど、補助金交付に関する運営事務の補助・助言等を行った。

■共生共創事業

開催日	会場	公演・企画名	入場者数等 (人)	配信等視聴者数
(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のライブサイト等、関連イベントへの出張出演、動画配信等				
①9月6日(月)～ ②12月7日(火)～	オンライン	① Our Glorious Future ～ KANAGAWA 2021～音楽のミライ 楽しさを分かち合おう！ ②サルサガムテープ ライブ ダ イジェスト	0	無料配信 視聴者数 ①2,075 ②624
(2) シニア劇団の運営				
かながわシニア創作創造プロジェクト 横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」				
9月28日(火)～	オンライン	横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」 第3回公演『賢治ととしの銀河鉄 道』	0	無料配信 視聴者数 1,027
かながわシニア創作創造プロジェクト 綾瀬シニア劇団				
12月9日(木)～	オンライン	綾瀬シニア劇団 Hale 8月オンライン稽古発表会 『「注文の多い料理店」を遊んで みた!』	0	無料配信 視聴者数 272
令和4年 1月17日(月)～	オンライン	綾瀬シニア劇団Hale 9月オンライン発表会 「はじめての即興エンゲキ」	0	無料配信 視聴者数 222
※令和4年 4月15日(金)公開	オンライン	綾瀬シニア劇団Hale ①コンテンポラリーミュージカル 『マスクの国のツンデレラ』配信 公演 ②『マスクの国のツンデレラ』 The Document	0	※令和4年4月15 日公開
かながわシニア創作創造プロジェクト 小田原シニア劇団「チリアクオールディーズ」				
7月10日(土)	小田原市民 会館	説明会	5	—

令和4年 3月28日(月)～	オンライン	小田原シニア劇団チリアクオール ディーズ「つくづく、も～かん ざしの日～」	0	無料配信 視聴者数 144
令和4年 2月14日(月)～	オンライン	おうちで挑戦!ストレッチ&発声 トレーニング	0	無料配信 視聴者数 1,140
(3) シニアダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」の運営				
かながわシニア創作創造プロジェクト 「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」				
4月22日(木) 27日(火) 5月13日(木) 25日(火) 6月10日(木) 29日(火) 7月6日(火) 22日(木) 8月5日(木) 9月7日(火) 10月26日(火) 11月19日(金) 12月20日(月) 令和4年 1月17日(月) 2月7日(月)	オンライン	オンラインダンスレッスン《15 回》	0	無料配信 事前申込制 視聴者数 422
10月7日(木)	みどりア ートパーク	みどりアートパークワークショッ プシリーズⅡ チャレンジ・オブ・ザ・シルバー 身体と向き合うシニアのためのワ ークショップ	25	—
※令和4年 4月21日(木)公開	オンライン	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー 2021年度成果作品 “TERMINAL”	0	※令和4年4月21 日公開
(4) 障がい者や高齢者等参加の舞台公演を含む良質な内容の舞台公演やシンポジウムの企画・実施				
令和4年 2月2日(水)～	オンライン	スクランブル・ダンスプロジェク ト 「いま、生まれたばかり」	0	無料配信 視聴者数 918
令和4年 3月4日(金)～	オンライン	2021年度 共生共創事業プロデュ ース OriHimeプロジェクト『星の 王子さま』 ①リーディング「星の王子さま」 ②ドキュメンタリー映画「ここ に、いる。～分身ロボットと創る 『星の王子さま』～」	0	無料配信 視聴者数 ①1,880 ②1,577

令和4年 3月30日(水)～	オンライン	神奈川県あそび歌プロジェクト 「世界の歌とあそぼう」 西アフリカのあそび歌『マクル』	0	無料配信 視聴者数 185
(5) 本業務に関する広報活動				
9月27日(月)～	オンライン	シニアや障がい者の方たちと舞台 芸術を楽しむ「共生共創事業」の 紹介	0	無料配信 視聴者数 322
12月9日(木)～	オンライン	綾瀬シニア劇団 Hale 8月オンライン稽古発表会 『「注文の多い料理店」を遊んで みた!』(再掲)	0	無料配信 視聴者数 272
令和4年 1月17日(月)～	オンライン	綾瀬シニア劇団Hale 9月オンライン発表会 「はじめての即興エンゲキ」(再 掲)	0	無料配信 視聴者数 222
令和4年 2月14日(月)～	オンライン	おうちで挑戦! ストレッチ&発声 トレーニング(再掲)	0	無料配信 視聴者数 1,140
令和4年 3月4日(金)～	オンライン	2021年度 共生共創事業プロデュ ース OriHimeプロジェクト『星の 王子さま』 ドキュメンタリー映画「ここに、 いる。～分身ロボットと創る『星 の王子さま』～」(再掲)	0	無料配信 視聴者数 1,577
※令和4年 4月28日(木)公開	オンライン	共生共創事業 巡るドキュメンタ リー とともに生きる とともに創る	0	※令和4年4月28 日公開
(その他の取組)				
共生共創通信の発行		①第7号 4月20日(火)発行 巻頭対談: OriHimeパイロットさえ、藤野涼子 ②第8号 8月31日(火)発行 巻頭対談: ホナガヨウコ、3日満月(権頭真由、佐藤公 哉)、小林よしひさ ③第9号 令和4年2月3日(木)発行 巻頭対談: 篠田麻里子、式町水晶 ④第10号 令和4年3月25日(金)発行 巻頭対談: 吉藤オリィ、大金康平		
文化庁 第25回 メディア芸術祭エンターテ インメント部門 審査委員会推薦作品に選出		「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」 2020年度成果発表作品第2弾 「Figures in the shadow, Figures in the light」		

(6) 調査研究業務

共生社会の実現や未病等を意識した魅力的なコンテンツの創出と発信を行い、共生社会の実現に寄与することを目指すためには、神奈川ゆかりのアーティスト、演目、文化イベント等の文化資源を見出し、今後の事業に活用していく必要がある。そのため、舞台芸術に関する専門人材を用いて、共生社会の実現又は未病を意識した舞台公演等が可能なコンテンツを幅広く調査・発掘した。

- ①横浜・川崎地域 5件（横浜市4件、川崎市1件）
 - ②横須賀三浦地域 1件（横須賀市1件）
 - ③県央地域 1件（相模原市1件）
 - ④湘南地域 2件（秦野市1件、藤沢市1件）
 - ⑤県西地域 1件（山北町1件）
- 合計10件

(7) 神奈川県内の文化事業に対する助言や実施確認等

ア 演劇等の舞台公演の実施者としての知見を活かし、発注者の求めに応じて、神奈川県補助金交付団体等の実施する文化事業の現地確認等を行い、神奈川県共生共創事業における今後の実施可能性等も含めて発注者に報告・助言等を行った。（全10件）

イ 神奈川県内の文化団体等に対し、神奈川県共生共創事業の周知および神奈川県の文化プログラム認証の活用に向けた普及・啓発活動を行った。

(2) 芸術文化に関する情報の収集提供 公1

- ・ 情報誌「神奈川芸術プレス」においては、大幅にリニューアルし財団の主催事業に限らず、広く県内外で実施された芸術文化や文化施設の取組等を紹介し、県民に芸術文化への理解をより深めて親しみを感じてもらい、文化と社会の架け橋になるような特集テーマを設定し、人材育成・インクルーシブ関連の取組みなど様々な観点を取り入れた内容にした。発行は、1月、3月の2回であった。
- ・ これまでの方針を大きく変えることによって、財団の事業に直接は関わらない幅広い分野の方のインタビューや読み物を掲載することで読者の幅も広がり、結果的に財団の取組みもこれまで届けられなかった層にも訴求することができた。またリニューアルによって冊子自体の発行部数は減ったが、配布場所を従来より工夫し、駅や書店など公共の場所を意識的に増やしたことで、冊子の内容をすべて掲載したウェブ版も制作することで、ウェブ版でも読者に届けることができた。



【情報誌「神奈川芸術プレス」A4判 年間 34,000 部発行】

内容	
特集	連載
<p>【1月発行 vol.159】 劇場”からみる共生社会 —広場としての文化施設 ケーススタディ：広場としての文化施設とは？ —3つの事例から— 大友良英インタビューほか 対談：パラリンピック式典から考える共生社会 栗栖良依 × 森山開次 インタビュー：濱口竜介、藤原徹平 コラム：青木彬、内野儀</p>	<p>・アートシーンプレイバック：2021年度のキッズプログラム、ダンスプログラムをふりかえる ・C×（シー・バイ）シリーズ：C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 —作曲家・山本裕之が武満徹を訪ねて 公演の舞台裏 衣装デザイナー編：伊藤佐智子</p>
<p>【3月発行 vol.160】 [特集] 緊急事態のなかで 巻頭インタビュー 演劇の魅力を伝えたい—コロナ禍で生まれた熱 長塚圭史（KAAT 神奈川芸術劇場 芸術監督） ボイス コロナ禍でのあゆみ — 5つの現場から— 1. 岡田利規（演劇作家・小説家・チェルフィッチュ主宰） 2. テレビ神奈川（tvk）ほか インタビュー：木村洋太、小川公代 コラム：吉本光宏</p>	<p>・アートシーンプレイバック：2021年度の美術プログラム、演劇プログラムをふりかえる ・C×（シー・バイ）シリーズ：C×C 作曲家が作曲家を訪ねる旅 —作曲家・川上統がサン=サーンスを訪ねて 公演の舞台裏 舞台字幕制作者編：加藤リツ子</p>

（3）かながわメンバーズの運営 公1

- ・ 芸術文化の普及、鑑賞機会の提供の拡充を目指し、インターネットを利用して24時間チケットの予約・購入が可能な無料の会員登録制度「かながわメンバーズ（KAme）」を運営し、情報提供やサービス提供を行った。
- ・ 2週間に1回の定期メールマガジン配信および随時行う臨時配信による最新のチケット発売情報などの提供とともに、会員限定の先行予約のサービスを実施した。適切な会員情報管理のため、重複登録の解消と休眠会員の退会処理を行い、令和3年度末の「かながわメンバーズ（KAme）会員」は、99,913人であった。

（4）チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公1

- ・ 県民ホール・芸術劇場・音楽堂で開催される公演のチケット販売を行うためにチケットセンターの運営を行った。併せて主催公演のチケットの販売の効果性・効率性を支援する票券管理補助業務を行った。チケット販売においては運用実績のあるチケット販売システムを継続して利用した。インターネットや電話による通信販売に加え、3館での窓口販売を行った。電話販売においては、単にチケットの販売にとどまらず、インターネットによる購入方法の説明、公演や会場周辺に関する案内なども行い利用者サービスの向上を図った。

- ・ 人気公演においては不正転売防止策として、チケット券面への購入者名の印刷などの対応を行った。
- ・ 主催公演のチケットの販売促進の一環として、各種団体・会員組織向けのインターネットを利用した割引販売を継続して行った。

(5) 資金調達活動 公1

- ・ 事業内容や広報活動等の一層の充実のため、国庫補助金や助成金など外部資金の獲得に努め、さらに広く当財団の活動趣意に賛同いただける企業・個人からの支援をいただくための活動を行った。

ア 文化庁等からの補助金・助成金の確保

日本芸術文化振興会（文化庁）「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」補助金、芸術文化振興基金、一般財団法人地域創造および民間の助成団体等、従来からの助成金の確保に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響に対する新規助成金についても積極的に活用を図った。

【令和3年度獲得実績】

助成団体等		件数	金額（千円）
日本芸術文化振興会（文化庁）「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」	《劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業》	1	57,349
	《地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業》	1	25,075
文化庁	文化芸術振興費補助金（文化施設の感染症防止対策事業）	3	6,620
特定非営利活動法人映像産業振興機構（文化庁）	ARTS for the future!（コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業）	1	25,000
特定非営利活動法人映像産業振興機構	コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LODlive2）	2	29,983
地域創造	地域の文化・芸術活動助成事業	1	10,000
その他民間助成団体	公益財団法人 花王芸術・科学財団ほか	2	700
合計		11	154,727

イ 賛助会員制度の運営

- ・ 賛助会員の新規入会や継続について積極的に働きかけ、年間を通じた財団運営や事業制作に対して、多くの法人・個人の方よりご寄付をいただいた。
- ・ 賛助会員への特典として、寄付者芳名板、ホームページ、配布プログラム等への芳名掲載、「神奈川芸術プレス」の送付、メールマガジンの定期配信などを行った。

【会員数・寄付金額】

種別	会員数	寄付金額（千円）
法人賛助会員	38 社	4,300
個人賛助会員	15 人	480
合計		4,780

《賛助会費を経費の一部に充てて開催された公演等》

「オープンシアター2021」みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」「王将」「アドヴェント・コンサート」
「子どもと大人の音楽堂」、その他事業に充当した。

ウ その他協賛金等の獲得

賛助会員による年間を通じた支援とは別に、公演や事業を特定した協賛、財団が主催する事業全般への寄付、各種広報媒体への広告等、様々な手法による支援をいただいた。また、コロナ禍における主催事業の中止時等においては、チケット料金を払い戻さずにご寄付いただく制度の活用を進め、多くの個人の方より支援をいただいた。

【個別協賛・その他】

対象事業	件数（者）	合計金額（千円）
KAAT EXHIBITION 志村信裕展「游動」	2	200
音楽堂公演	1	200
KAAT「アルトゥロ・ウイの興隆」	1	50
一般寄付他	2	10,003
合計	6	10,453

【広告協力】

内容	法人数（社）	金額（千円）
広告協力	2	150
チケット買入協賛	1	350
合計	3	500

【チケット料金払い戻し時における寄付】

内容	件数（者）	金額（千円）
チケット料金の寄付	16	119

（6）管理組合の運營業務受託 収2

神奈川芸術劇場および日本放送協会横浜放送会館合同施設のうち、指定された敷地・建物の清掃、保全、保守、植栽、じん芥処理および消毒業務等の施設維持管理業務を行った。あわせて、アトリウムでのイベントに関する芸術劇場の公演等との調整や、日本放送協会と芸術劇場共用の搬入車路の調整など、合同施設全体の各種の利用調整を行った。

合同施設の免震ゴムや免震オイルダンパー等の工事について、県等との調整を行った。

(7) 法人本部の運営 法人

理事会・評議員会等の運営、事業評価の実施、「働き方改革」に向けた取組、職員の資質向上のための研修の実施、県主導第三セクターおよび公益法人の運営に関すること（総務、経営企画、人事、会計、県との連絡調整等）などを行った。

ア 理事会・評議員会等の実施状況

- 理事会

令和3年6月7日（月）	第1回通常理事会
6月29日（火）	第1回臨時理事会
10月4日（月）	第2回臨時理事会
令和4年3月11日（金）	第2回通常理事会

- 評議員会

令和3年6月29日（火）	定時評議員会
令和4年3月22日（火）	第1回臨時評議員会

イ 職員研修

財団本部による新入職員研修、各所属にて業務上必要な研修を行ったほか、新型コロナウイルス感染対策として密集を避けるため、全国公立文化施設協会、神奈川県公立文化施設協議会、日本プライバシー認証機構等の外部機関が実施するオンライン研修の機会も積極的に活用した。

ウ 事業評価（外部評価の実施状況）

令和2年度事業評価状況

外部評価員（委嘱）	5人
実地見学実施事業数	21事業
事業評価会議の実施	令和3年9月10日（金）

令和3年度事業評価状況

外部評価員（委嘱）	5人
実地見学実施事業数	22事業

エ 寄付講座

財団本部の事業として、昭和音楽大学の令和元年度後期の音楽芸術運営学科アートマネジメントコース「芸術文化と社会Ⅱ」「芸術運営論Ⅱ」に当財団が出講（寄付講座）し、当財団職員が分担して教壇に立つなど、11月に計2コマ（2日間）の授業を行った。

※2ページ以降の凡例（**公1**、**収1**、**収2**、および**法人**）は、公益認定および会計上の分類を示す。

◆公益目的事業

公1 芸術文化事業およびそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究および人材育成

◆収益事業

収1 駐車場の運営等に関する事業

収2 大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業

◆法人会計

法人 法人の運営に関すること

※「I. 芸術文化事業」の事業一覧に記載のあるオンライン配信は「企画」としてカウントし、公演・企画名の下に概要を記載した。配信等視聴者数について、特に期間の記載がないものは令和4年3月31日時点とした。なおオンライン配信は、当財団の各施設が独自に配信したもののみを記載した。

(参考資料)

新型コロナウイルス感染症の影響および財団の対応について

日付	神奈川県方針等	財団の対応
令和3年 3月24日	<p>神奈川県対処方針に基づき4月21日まで「リバウンド防止期間」</p> <p>県立施設は「原則休館すること」が継続されたが、劇場等は経済活動を停止させないために、引き続き法によらない「営業時間短縮等の働きかけを行う施設」に分類された。</p> <p>収容率：大声なし 100%以内、大声あり 50%以内、人数上限 5,000 人又は収容定員の 50%以内 (≦10,000 人)</p> <p>※「(≦10,000 人)」は4月18日まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方針に基づき、対象期間の施設利用者に、終演時間の短縮、客席収容人数の制限等の働きかけを行った(働きかけの内容は、施設ごとに異なる)。 ・施設ごとに定めた「新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」を必要に応じて更新しつつ、主催事業、貸館事業ともこれに基づく運用を行った。 ・対象期間の新たな施設利用申し込みの受付を停止した。 ・財団主催事業については、十分な感染対策を行った上で原則実施することとした。
4月16日	<p>政府による「まん延防止等重点措置」の適用 措置期間：4月20日～5月11日</p> <p>神奈川県「特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針」制定</p> <p>営業時間の働きかけ(20時まで)</p> <p>県立施設は「原則休館すること」が継続されたが、劇場等は経済活動を停止させないために、引き続き法によらない「営業時間短縮等の働きかけを行う施設」に分類された。</p> <p>収容率：上限 5,000 人かつ大声なし 100%以内、大声あり 50%以内。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方針に基づき、施設利用者に、終演時間の短縮、客席収容人数の制限等の働きかけを行った(働きかけの内容は、施設ごとに異なる)。 ・措置期間中の新たな施設利用申し込みの受付は停止した。 ・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。
5月8日	措置期間の延長(～5月31日まで)	
5月28日	措置期間の延長(～6月20日まで)	
6月18日	措置期間の延長(～7月11日まで)	
7月8日	措置期間の延長(～8月22日まで)	
7月30日	<p>政府による緊急事態宣言発出 措置期間：8月2日～8月31日</p> <p>神奈川県「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」制定</p> <p>県立施設は「原則休館すること」が継続されたが、劇場等は経済活動を停止させないため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方針に基づき、施設利用者に終演時間の短縮、客席収容人数の制限等の働きかけを行った(働きかけの内容は、施設ごとに異なる)。 ・措置期間中の新たな施設利用申し込みの受付は停止した。

	に、引き続き法によらない「営業時間短縮等の働きかけを行う施設」に分類された。 イベントの開催制限（新規販売分に適用） ・人数上限：5,000人かつ収容率50%以内	・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。
8月17日	措置期間の延長（～9月12日まで）	
9月9日	措置期間の延長（9月30日まで）	
10月1日	「リバウンド防止期間」 措置期間：10月1日～10月24日 イベントの開催制限（新規販売分に適用） 収容率：上限5,000人かつ大声なし100%以内、大声あり50%以内。	・措置期間中の新たな施設利用申し込みの受付は停止した。 ・方針に基づき、施設利用者に対して県との事前相談を行うよう周知した。 ・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。
10月25日	「基本的対策徹底期間」 措置期間：10月25日～11月30日 イベントの開催制限（新規販売分に適用） 収容率：上限5,000人かつ大声なし100%以内、大声あり50%以内。	・10月25日以降の施設利用について、新規受付を再開した。 ・方針に基づき、11月25日以降「感染防止策チェックリスト」の作成、公開を行うよう、施設利用者に対して周知した。 ・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。
令和4年 1月19日	政府による「まん延防止等重点措置」の適用 措置期間：1月21日～2月13日まで 神奈川県「特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針」策定 イベントの開催制限（新規販売分に適用） 収容率：上限5,000人かつ大声なし100%以内、大声あり50%以内。	・施設ごとに定めた「新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」を必要に応じて更新しつつ、主催事業、貸館事業ともこれに基づく運用を行った。 ・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。
2月10日	措置期間の延長（～3月6日まで）	
3月4日	措置期間の延長（～3月21日まで）	
3月21日	3月21日をもって「まん延防止等重点措置」を解除。 「感染防止策チェックリスト」の作成、公開、入場制限等は継続して行う。 収容率：上限5,000人かつ大声なし100%以内、大声あり50%以内。	・施設ごとに定めた「新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」を必要に応じて更新しつつ、主催事業、貸館事業ともこれに基づく運用を行った。 ・財団主催事業については、十分な感染防止対策を行った上で実施した。

(参考資料)

第4期指定管理（令和3年度～令和7年度）における財団の理念、ミッション

【財団の「理念」と3つの「視点」】

1. 財団の理念

- 私たちは、その想像力と創造性を活用し、芸術文化の価値を高めます。
- 私たちは、芸術文化の力で、地域に生きる人々の心を豊かにし、幸福な社会の実現に貢献します。

2. 3つの「視点」（財団の理念に次の3つの視点を持って向きあっています）。

- 視点1「革新性」：革新的な思考や活動を通じて、新しい価値とさまざまなあり方を認め合う、豊かで柔軟な社会をめざします。
- 視点2「国際性」：国際的な創造発信を行ってきた「神奈川」という地域の特性を発揮します。
- 視点3「多様性」：基本的人権を尊重し、平和を希求する社会の実現に寄与します。

【財団の4つのミッション】（上記、「理念」のもとに、定めた4つのミッション）

■ミッション「創造に挑む」

- ・芸術文化の価値の追求
- ・多様な価値観や美意識、表現の自由に基づく作品の創造
- ・古典作品の再発見と伝統の継承
- ・劇場法が示す公共劇場のモデルを体現

■ミッション「感動を分かち合う」

- ・自宅でも職場・学校でもない、人びとに開かれた「第3の場所」としての文化施設の実現
- ・豊かな芸術体験の提供、多様な芸術文化の紹介
- ・広域ネットワークの構築
- ・神奈川県内の地域文化の活性化と偏在の解消
- ・文化施設の維持・運営を通し、あらゆる人々の鑑賞や創造活動を支援

■ミッション「つねに考える」

- ・新たな行動に結びつく公正で適正な評価と組織整備
- ・社会と芸術、時代の多面的な検証
- ・芸術文化の公共性や可能性の考察
- ・文化施設の公共性や可能性の考察

■ミッション「未来につなぐ」

- ・芸術文化の担い手の育成
- ・次世代への継承
- ・創造性やコミュニケーション力を養う教育の拠点

附属明細書

令和3（2021）年度事業報告には、一般社団法人及び財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はございません。